中西部
ヤングサッカーニュース
2010 1
発行責任者／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

夢の舞台へ！
～長谷部選手からのメッセージ～

藤枝市出身の長谷部誠選手がドイツに渡って3年目のシーズンを迎えた。さらにワールドカップイヤーの今年、日本代表の中心選手として、その舞台に立つべく、大きな期待が掛かる。

新年明けましておめでとうございます。昨年は僕にとって本当にいろいろな経験が出来た年になりました。なかでもやはりワールドカップ出場権獲得とブンデスリーガ優勝はとても大きなものでした。ワールドカップ予選では、国を代表し戦うという中でかなりのプレッシャーを感じていました。それを乗り越え出場権を獲得でき、大きな自信になりました。ブンデスリーガ優勝というものも大きな自信を与えてくれました。僕がドイツに渡った時は降格争いをしていたチームが二年後に優勝してしまったわけですから。ただいまだに少し信じられません。

さて、今年はワールドカップ本大会があります。僕の小さい頃からの夢の舞台です。ずっとあの舞台に立つんだと思ってきました。まずはメンバーに選ばれるように怪我などのコンディションに気をつけたいと思います。そして本大会では大暴れしてきたいと思います。中西部地区の方達にも応援していただけたらうれしいです。


©J.LEAGUE PHOTOS

長谷部 誠 ヴォルフスブルク MF
1984年1月18日生
青島東SS→青島中学校→藤枝東高校→浦和レッドダイヤモンズ

FIFAワールドカップ南アフリカ大会

2010年、ワールドカップ開催年を迎えた。南アフリカ大会が6月11日に開幕する。日本は1次リーグE組でオランダ、デンマーク、カメルーンと対戦する。いずれもFIFAランキングは日本より上位の3か国ではあるが、岡田武史監督が語るベスト4入りを目指し、日本代表が厳しい戦いに挑む。

日本の試合日程

期日	時間(日本時間)	対戦国	会　場
6/14(月)	16:00(14日23:00)	カメルーン	マンガウング/ブルームフォンテーン
6/19(土)	13:30(19日20:30)	オランダ	ダーバン
6/24(木)	20:30(25日 3:30)	デンマーク	ルステンブルク

日本代表に初選出


©J.LEAGUE PHOTOS

村松 大輔 湘南ベルマーレ DF
1989年12月16日生
焼津南SS→藤枝東FC→藤枝東高校→Honda FC

1月6日に行われたアジアカップ予選のイエメン戦で、日本代表に初選出された村松大輔選手。今回は若手主体で13人が初代表入りというフレッシュな日本代表だったが、今後の活躍次第でW杯出場の可能性もある。

2012年のロンドン五輪世代となるU−20日本代表で出場した昨年12月の東アジア競技大会では、3試合に出場し決勝で先制点を決めるなどの活躍をみせた。

2012年ロンドン五輪世代


©J.LEAGUE PHOTOS

河井 陽介 慶應義塾大学 MF
1989年8月4日生
青島SS→藤枝東FC→藤枝東高校
2009年JFA・Jリーグ特別指定選手（清水エスパルス）

河井陽介選手は、2009年にU−20日本代表として、8月の韓国遠征とスペイン遠征に参加。12月の東アジア競技大会にも出場し、グループリーグのマカオ戦でフル出場し1得点を挙げるなどで、日本の準優勝に貢献した。

新春チャリティ！ 藤枝初蹴り大祭2010

「子供たちに夢を、地域に活力を」を目的に、「新春チャリティ！藤枝初蹴り大祭2010」（主催：㈱藤枝MYFC・㈶静岡県サッカー協会、後援：藤枝市・㈶静岡県サッカー協会中西部支部など）が1月3日に藤枝総合運動公園サッカー場で開催された。1部は、地元中西部支部出身のJリーガーなどとJリーグ入りを目指す藤枝MYFCの選手たちが、地域の子供たち約500名と初蹴りとして、一緒にボールを蹴って触れ合った。

2部では、藤枝MYFCがJリーガーたちの藤枝ドリームスとドリームマッチを行った。前半に藤枝MYFCが横山拓也選手のゴールで先制。後半は藤枝ドリームスの河井陽介選手が名波浩選手のパスから同点ゴールを決めた。試合はPK戦となり、藤枝ドリームスが6対5で勝利。藤枝ドリームスの中山雅史選手が、ゴールはならなかったが何度もシュートを狙い、終盤には藤枝MYFC総監督の釜本邦茂氏も藤枝ドリームスの選手として出場し、PK戦も蹴るなどで、詰めかけた約7100名の観衆を大いに沸かせた。

出場したJリーガーたちは、中山雅史、成岡翔、岡田隆（以上ジュビロ磐田）、名波浩（元ジュビロ磐田）、山田暢久（浦和レッズ）、石川竜也、赤星貴文（以上モンテディオ山形）、谷澤達也（ジェフユナイテッド市原・千葉）、佐野克彦（清水エスパルス）、石井俊也（ロアッソ熊本）、岡田佑樹（栃木SC）、金澤大将（水戸ホーリーホック）、朝比奈伸（TDK）、清野雄大（福島ユナイテッドFC）、碓井健平（筑波大学）、河井陽介（慶應大学）―敬称略―

ドリームカップ 藤枝MYFC vs 藤枝ドリームス



中西部出身Jリーガー 活躍に期待

山田 暢久 浦和レッドダイヤモンズ	ＭＦ／1975年９月10日 稲葉ＳＳ→藤枝中→藤枝東高
石川 竜也 モンテディオ山形	ＤＦ／1979年12月25日 西益津ＳＳ→西益津中→藤枝東高→筑波大→鹿島アントラーズ→東京ヴェルディ
岡田 隆 ジュビロ磐田	ＤＦ／1984年４月10日 西益津SS→ジュビロＳＳ掛川→藤枝東高→筑波大
大井 健太郎 ジュビロ磐田	ＤＦ／1984年５月14日 高洲南ＳＳ→ＡＣＭブルックスＦＣ→藤枝東高
成岡 翔 ジュビロ磐田	ＭＦ／1984年５月31日 六合ＳＳ→ＥＷＳ・ＦＣ→藤枝東高
小澤 雄希 湘南ベルマーレ	ＤＦ／1983年10月４日 高洲南SS→ACMブルックスFC→藤枝明誠高→V.V SHO(オランダ)→水戸ホーリーホック
枝村 匠馬 清水エスパルス	ＭＦ／1986年11月16日 榛原川崎ＳＳ→清水エスパルスＪＹ→清水エスパルスＹ
山本 真希 清水エスパルス	ＭＦ／1987年８月24日 大津ＳＳ→清水エスパルスＪＹ→清水エスパルスＹ
碓井 健平 清水エスパルス	ＧＫ／1987年５月15日 柏レイソルＪｒ→東海大一中→藤枝東高→筑波大
中山 雅史 コンサドーレ札幌	ＦＷ／1967年９月23日 岡部ＳＳ→岡部中→藤枝東高→筑波大→ヤマハ発動機・ジュビロ磐田
岡田 佑樹 栃木ＳＣ	ＤＦ／1983年10月４日 藤枝中央ＳＳ→ＥＷＳ・ＦＣ→藤枝東高→中央防犯藤枝ＳＣ→コンサドーレ札幌
谷澤 達也 ジェフユナイテッド市原・千葉	ＭＦ／1984年10月３日 大井川東ＳＳ→ＥＷＳ・ＦＣ→静岡学園高→柏レイソル

※名前下のチーム名は、2010年２月１日以降の所属チーム。
＜プロフィール＞ポジション／生年月日、サッカー歴

中西部
ヤングサッカーニュース
2010 2

発行責任者／㈶静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

宝くじスポーツフェア 日本代表OBがやって来る！ in 藤枝
ドリームサッカー
ドリームチーム（日本代表ＯＢ） VS 藤枝市選抜チーム（藤枝ドリームス）

「ドリームサッカー　日本代表OBがやって来る！　in藤枝」と題して、２月28日に藤枝総合運動公園サッカー場においてイベントが開催される。地元、藤枝市出身の名波浩氏など日本代表ＯＢで構成する「ドリームチーム」と「藤枝市選抜チーム（藤枝ドリームス）」のドリームマッチをメインとして、日本代表ＯＢによる少年少女サッカー教室や、事前申し込み者（申し込みの締め切りは終了）が参加する、日本代表ＯＢとのリフティング対決などのアトラクションも実施される。

入場は無料だが整理券が必要で、藤枝市役所スポーツ振興課や同市内各公民館などで配布されている。さらに、当日は12時までに入場された方を対象に、日本代表ＯＢのサイン入り賞品が当たる抽選会も行われ、入場整理券が抽選券となる。

前日の27日には14時30分から藤枝総合運動公園サッカー場で指導者クリニックが開かれ、見学も可能。

詳細は藤枝市役所ホームページ、もしくは㈶静岡県サッカー協会中西部支部のホームページをご覧下さい。

ドリームサッカープログラム

２月28日(日)
藤枝総合運動公園サッカー場

- 9:00 開場
- 9:30 少年少女サッカー教室
- 12:10 ドリーム抽選会（12:00までの入場者対象）
- 12:30 開会式
- 13:00 アトラクション（事前申し込み者対象）
- 13:30 ドリームゲーム
- 15:00 閉会

入場整理券配布場所

藤枝市役所スポーツ振興課
藤枝市内各公民館
藤枝総合運動公園
藤枝市民体育館
県民サービスセンター（県庁）

＜問合せ先＞ 藤枝市役所スポーツ振興課 TEL054-643-3111（内774）



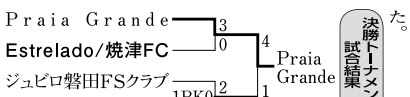
PUMA CUP 2010 K-MIX CUP争奪 第15回全日本フットサル選手権 静岡県大会
Estrelado/焼津FC 第３位

K-MIX CUP争奪全日本フットサル選手権静岡県大会が、12月19日、20日にエコパアリーナなどで行われ、Estrelado／いちまるスポーツヴィラ／焼津フットサル倶楽部（以下、Est／焼津FC）が３位となった。

５支部の代表12チームが４組に分かれて予選リーグを行い、各組の１位４チームが決勝トーナメントに進んだ。中西部からはEst／焼津FCと大和撫子／VIORA藤枝が出場。大和撫子／VIORA藤枝は予選リーグで、東海リーグ１部１位でこの大会も優勝したPraia Grandeに惜敗し、決勝トーナメント進出はならなかった。予選リーグ２勝してブロック１位となったEst／焼津FCは、準決勝に進み、ここでPraia Grandeと対戦。０対３で敗れ、決勝進出と東海大会出場を逃した。


Estrelado/焼津FC　VS　テレポケット/DOPPO

決勝トーナメント試合結果



予選リーグ試合結果（中西部勢のブロックのみ）

Aブロック	大和撫子/VIORA藤枝	ARTISTA	Praia Grande	勝点	順位
大和撫子/VIORA藤枝		○4-2	●3-5	3	2
ＡＲＴＩＳＴＡ	●2-4		●1-3	0	3
PraiaGrande	○5-3	○3-1		6	1

Bブロック	Obra-Prima	Estrelado/焼津ＦＣ	テレポケット/DOPPO	勝点	順位
Ｏｂｒａ-Ｐｒｉｍａ		●0-4	●1-4	0	3
Estrelado/焼津ＦＣ	○4-0		○2-1	6	1
テレポケット/DOPPO	○4-1	●1-2		3	2

第９回山口杯争奪 中西部シニアサッカー選手権大会
優勝 藤枝

35歳以上の選手が出場対象となる山口杯争奪中西部シニアサッカー選手権大会が、12日20日に藤枝総合運動公園陸上競技場で行われた。中西部内４地区の各選抜チームが、１回戦総当たりのリーグ戦で争った。全ての試合が１点差以内の接戦となる中で、２勝１分けの勝点７をあげた藤枝が優勝した。


島田　VS　焼津


藤枝　VS　榛原

試合結果

	藤　枝	焼　津	島　田	榛　原	勝点	得失差	順位
藤　枝		○1-0	△1-1	○1-0	7	2	1
焼　津	●0-1		○1-0	△0-0	4	0	3
島　田	△1-1	●0-1		○2-1	4	0	2
榛　原	●0-1	△0-0	●1-2		1	-2	4

※２・３位は総得点による。

平成21年度 東海地区中学生選抜サッカー大会
静岡県選抜で中西部勢４名参加

14歳以下のトレセン活動の一環となる東海地区中学生選抜大会が１月23日、24日に磐田市で実施された。U－14とU－13に分けて行われ、それぞれのカテゴリーに４県の各県選抜チームと、清水エスパルス、ジュビロ磐田、名古屋グランパスのＪクラブ３チームが参加して、変則のリーグ戦形式で４試合ずつを行った。

静岡県選抜には16名ずつが選出され、中西部勢ではU－14に１名、U－13に３名の計４名が選ばれた。

静岡県U－13の中西部勢		
位置	氏名	所属チーム
ＤＦ	杉山遼太郎	藤枝東ＦＣ
ＭＦ	小寺　将意	静岡学園中(初倉ＦＣ出身)
ＭＦ	小谷　春日	藤枝東ＦＣ
静岡県U－14の中西部勢		
位置	氏名	所属チーム
ＭＦ	大村　海太	エスパルスＳＳ榛原

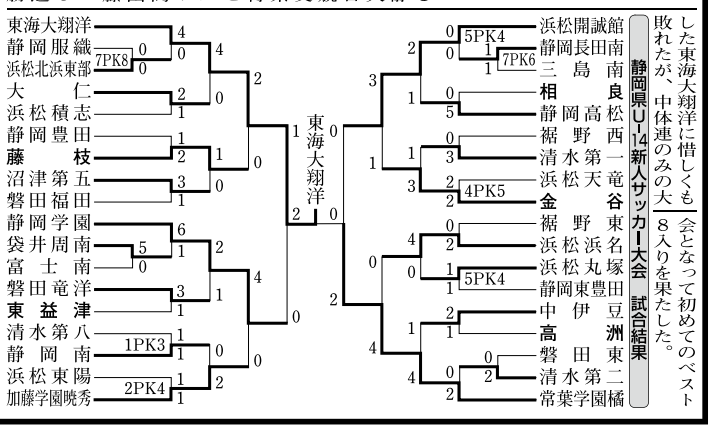
試合結果

U-13
- ジュビロ磐田 3－0 静岡県選抜
- 三重県選抜 3－0 静岡県名古屋グランパス
- 静岡県選抜 1－1 清水エスパルス

U-14
- 静岡県選抜 3－1 ジュビロ磐田
- 静岡県選抜 1－1 三重県名古屋グランパス
- 静岡県選抜 3－2 清水エスパルス
- 静岡県選抜 4－1 清水エスパルス

静岡県トラック協会長杯 第25回 静岡県U-14新人サッカー大会
金谷中学校、藤枝中学校 ベスト８入り

静岡県トラック協会長杯静岡県U－14新人サッカー大会は１月９日、16日、30日に藤枝総合運動公園陸上競技場などで行われた。５支部の代表32チームと静岡県U－14リーグに参戦した特別シード４チームを合わせた36チームによるトーナメント戦で争われ、中西部からは金谷、藤枝、相良、高洲、東益津の５チームが出場した。その中で金谷と藤枝が準々決勝に勝ち進み、金谷は浜松開誠館に惜敗したが、昨年に続く２大会連続のベスト８。藤枝も優勝した東海大翔洋に惜しくも敗れたが、中体連のみの大会となって初めてのベスト８入りを果たした。


静岡県U-14新人サッカー大会　試合結果
東海大翔洋
静岡学園
静岡北
静岡学園
静岡学園
静岡学園

中西部
ヤングサッカーニュース
2010 3

発行責任者／㈶静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第16回 静岡県Ｏ-35サッカー選手権大会
中西部選抜 2年ぶり優勝

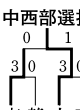


静岡県Ｏ-35サッカー選手権大会は２月７日、21日に愛鷹広域公園で開催され、中西部選抜が２年ぶりに優勝した。

中西部選抜は予選リーグで、中西部の選手も多数いる40歳以上の静岡県選抜などに勝って２勝し、Ｂリーグ１位で決勝トーナメントに進出。準決勝でＡリーグ２位の西部選抜と対戦し、前半に小泉富広、後半に飯塚俊晴と深津勝利のゴールで３点を奪って快勝。決勝へ駒を進めた。

決勝の相手は前回の決勝で敗れた東部選抜。サイドへの展開から幾度か決定的な場面を作り出すが、シュートは枠をとらえられず、０対０のまま延長戦へ突入。その前半３分、小川達也のＦＫを落合義嗣が頭で合わせて待望の１点をゲット。後半は相手の反撃に守勢になるも、落ち着いて対応しリードを守り切った。

決勝トーナメント試合結果



予選リーグ最終順位

順位	Ａリーグ	Ｂリーグ
1	東部選抜	中西部選抜
2	西部選抜	静岡県選抜
3	中部選抜	中東部選抜

成長著しい高校女子サッカー
静岡県高校女子サッカー新人大会
藤枝順心 ７連覇!!



平成21年度

静岡県高校女子サッカー新人大会は、予選リーグを勝ち上がった８校による決勝トーナメントが２月11日、14日、21日に行われ、藤枝順心が７連覇を果たした。

順当に勝ち上がり決勝に進んだ藤枝順心の相手は常葉学園橘。指導者のプロでもある日本代表ＯＢの指導に、子供たちも真剣に取り組んでいた。

ドリームゲーム

日本代表ＯＢとのドリームゲームでは、藤枝選抜チームに東海社会人リーグや静岡県リーグに所属するチームの現役選手やそのＯＢなど、元日本代表選手も含め多彩な顔ぶれとなった。

試合は、前半18分に石田博行の右クロスを飯塚俊晴がダイビングヘッドで決め、藤枝選抜が先制。２分後には日本代表ＯＢも水沼貴史のヒールパスから永島昭浩のシュートで同点に。引き分けとなった互角の展開を観客も楽しんだ。

藤枝選抜	
石神　良則	ヤマハFC
杉山　誠	サンセール
杉山　実	サンセール
薮崎　豊樹	藤枝FC
杉村　太志	藤枝FC
碓井　勝	藤枝FC
渡邊　剛	藤枝市役所
紅林　豊	藤枝市役所
尾白　幸生	藤枝ＦＣ
吉田　康弘	藤枝MYFC
飯塚　俊晴	藤北クラブ
大石　悟司	大鳩バレンテFC
永井　克俊	藤枝市役所
齋藤　俊秀	藤枝MYFC
津島　三敏	藤枝MYFC
山田　智紀	FC.FARRAGO
石田　博行	藤枝MYFC
志村　雅基	(トレーナー兼任)
日本代表OB	
大仁　邦彌	
清雲　栄純	
松木安太郎	
金田　喜稔	
水沼　貴史	
永島　昭浩	
望月　聡	
大野　俊三	
前田　治	
岡中　勇人	
大嶽　直人	
山口　素弘	
森山　泰行	
小村　徳男	
下川　健一	
柳本　啓成	
中西　永輔	
増田　忠俊	
松原　良香	
奥　大介	
福西　崇史	

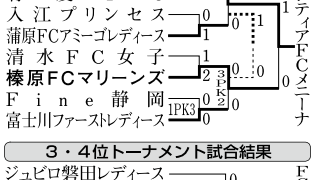
JFAガールズサッカーフェスティバル2009
第７回ドリームカップ大会
榛原FCマリーンズ　準優勝



ＪＦＡガールズサッカーフェスティバル・ドリームカップ大会が２月20日、21日に富士川河川敷緑地公園グラウンドで行われた。参加14チームが４組での予選リーグの後、１・２位と３・４位のトーナメント戦を行った。４チームが出場した中西部勢では、榛原ＦＣマリーンズが１・２位トーナメントに進出し、決勝まで勝ち進んで、フロンティアＦＣメニーナに０対１で敗れるも、準優勝となった。

榛原ＦＣマリーンズは、１・２位トーナメント１回戦で清水ＦＣ女子と対戦し、優位に進め前半に先制する。一旦は追いつかれるが、後半に相手ＧＫのクリアボールを奪ってループシュートで決勝点をあげた。準決勝の富士川ファーストレディース戦は、共に無得点で突入したＰＫ戦を制して辛勝。決勝ではフロンティアＦＣメニーナに押されながらも粘り強く戦い、速攻で対抗したが一歩及ばず、前半の１失点で惜敗した。

１・２位トーナメント試合結果



３・４位トーナメント試合結果



宝くじスポーツフェア
日本代表ＯＢがやって来る！ in 藤枝
ドリームサッカー

「ドリームサッカー」で日本代表ＯＢが藤枝にやって来た。これは、宝くじスポーツフェアとして、日本代表ＯＢが全国各地に赴き、開催地チームとの親善試合（ドリームゲーム）やサッカー教室を行うもの。藤枝では２月28日に藤枝総合運動公園サッカー場で開催され、日本代表ＯＢが、少年少女サッカー教室や藤枝選抜チームとの試合などを行った。

少年少女サッカー教室

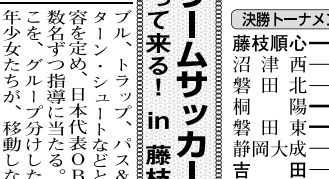
サッカー教室には、中西部支部内の小学６年生を主体に５年生も含め237名が参加。８つのブロックで、ブロック毎にパス、ドリブル、トラップ、パス＆リターン・シュートなどと内容を定め、日本代表ＯＢが数名ずつ指導に当たる。そこを、グループ分けした少年少女たちが、移動しながら全ての指導を受けた。指導者のプロでもある日本代表ＯＢの指導に、子供たちも真剣に取り組んでいた。

ドリームゲーム

日本代表ＯＢとのドリームゲームでは、藤枝選抜チームに東海社会人リーグや静岡県リーグに所属するチームの現役選手やそのＯＢなど、元日本代表選手も含め多彩な顔ぶれとなった。

試合は、前半18分に石田博行の右クロスを飯塚俊晴がダイビングヘッドで決め、藤枝選抜が先制。２分後には日本代表ＯＢも水沼貴史のヒールパスから永島昭浩のシュートで同点に。引き分けとなった互角の展開を観客も楽しんだ。

決勝トーナメント試合結果





新たな挑戦

藤枝市４種副委員長

落合　一昭

～「楽しい」とは～

最近の少年サッカーの個人技術の能力は、たいへん向上してきています。キッズ年代の選手にしてもＵ-12の選手にしてもドリブルやフェイント等上手にやることができます。これも指導者の方々の適切な指導の賜と感じています。しかし、これはトレーニングの時に多くみられる姿であります。実際にゲームになった時にはなかなか見られないのが現状です。ゲームの中で、たまにすばらしいフェイントで抜き去る姿を見ると「ウォー」となってしまいます。

それでは、もっとそんなプレーが見られるようになるにはどうしたらよいでしょう。指導者の皆さんの悩みでもあるかもしれません。

今はゲーム中心のトレーニングが多くなりました。「楽顔」でボールを蹴り合う。それが「楽しい」。それ自体に反論するつもりはありませんが、「楽しい」という言葉の中には「苦しいことを乗り越え、ある技術を試合の中でも使えるようになる」という「楽しさ」もあるように思います。

黄金期にある少年時代に試合で使える技術をマスターしたから先、今以上にサッカーが「楽しく」なることでしょう。

少し自分に厳しい目標を決めてトレーニングを積んでいったらどうでしょうか。「楽しい」という言葉の意味を考えてみてください。

第25回 静岡県ヤングサッカーフェスティバル
U-15静岡県選抜で2名 静岡県高校選抜で3名 中西部勢が出場

静岡県ヤングサッカーフェスティバルは３月７日に草薙球技場で開催された。U-12の部の中部と中東部の小学生選抜の試合に続き、U-15の部で静岡県選抜が県中部選抜と対戦。U-18の部では、清水エスパルス対ジュビロ磐田、静岡県高校選抜対日本高校選抜の２試合が行われた。

U-15の部

U-15静岡県選抜 3-1 U-15中部選抜

U-15の静岡県選抜と県中部選抜の対戦は、３点を先行した静岡県選抜が中部選抜の追撃を１点にとどめて勝利した。県選抜は、２０１０年の千葉国体出場を目指す選手たちで、中西部から松本一騎と坂本新太郎も選抜された。松本は左サイドバック、坂本は右サイドバックで共に後半から出場し、内１人は正しく修正してプリンスリーグにつなげたい」と意気込みを新たにした。

U-18の部第2試合

日本高校選抜 2-2 静岡県高校選抜

静岡県高校選抜が、全国高校サッカー選手権の優秀選手の中から選考された選手で構成する日本高校選抜に胸を借りた。前半13分に先制を許すが、後半に入り相手のスピードに慣れた県選抜は、10分と16分に得点し逆転。５分後に同点にされるも、引き分けと健闘した。県選抜では藤枝明誠高校２年の原口祐次郎、向田将悟、松村悠平の３選手が出場。キャプテンを務めた原口は「相手の方が動きの質すべてが上だった。課題をチームに戻って修正したい」と話した。


坂本新太郎　松本　一騎


松村　悠平　原口祐次郎　向田　将悟

中西部
ヤングサッカーニュース
2010 4

発行人／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

JFAプリンスリーグU-18東海2010


藤枝明誠高校


藤枝東高校

1部に藤枝明誠高校が参戦 2部に藤枝東高校が参戦 上位リーグ入り目指す

JFAプリンスリーグU-18東海は、1部が4月10日に開幕し、藤枝明誠高校が常葉学園橘高校に1得点で勝利して白星発進した。藤枝東高校が参戦する2部は17日にスタートする。1部は10チーム、2部は8チームによる1回戦総当たり戦で、ともに7月10日まで行われる。

今年度は1部の上位4チームが高円宮杯全日本ユース選手権の出場権を獲得。また、優勝チームには2011年度の「日韓中ジュニア交流競技会」への出場権が与えられる。そして、来年度から全国リーグの実施が決まっており、上位3チームが昇格することになる。なお、下位の1チームは2部へ降格となる。藤枝明誠は、昨年に続く高円宮杯出場と全国リーグ昇格を目指す。

2部は、1位・2位の2チームが来年度の1部に昇格し、6～8位は各県リーグへ降格となる。藤枝東は1年での1部復帰に挑む。

藤枝明誠の試合日程	期日	時間	対戦相手	会場
	4/10(土)	12:00	常葉学園橘	草薙球技場
	4/17(土)	12:00	清水エスパルス	藤枝総合サッカー場
	4/24(土)	14:15	名古屋グランパス	J－STEP（西）
	4/29(祝)	12:00	静岡学園	エコパ補助競技場
	5/ 5(祝)	16:15	海星	鈴鹿スポーツガーデン
	6/12(土)	16:00	四日市中央工業	鈴鹿スポーツガーデン
	6/26(土)	18:15	清水商業	藤枝総合サッカー場
	7/ 3(土)	16:00	ジュビロ磐田	ヤマハスタジアム
	7/10(土)	16:00	中京大中京	藤枝総合サッカー場

藤枝東の試合日程	期日	時間	対戦相手	会場
	4/17(土)	16:00	三重	鈴鹿スポーツガーデン
	4/24(土)	14:15	帝京可児	TECOフィールド
	4/29(祝)	14:15	飛龍	草薙球技場
	5/ 5(祝)	12:00	岡崎城西	藤枝総合サッカー場
	6/26(土)	16:00	加藤学園暁秀	愛鷹多目的競技場
	7/ 3(土)	15:00	岐阜工業	TECOフィールド
	7/10(土)	18:15	磐田東	藤枝総合サッカー場

参加チーム
1部（10チーム）
ジュビロ磐田ユース
静岡学園高校
藤枝明誠高校
名古屋グランパスユース
清水商業高校
清水エスパルスユース
四日市中央工業高校
常葉学園橘高校
海星高校
中京大中京高校
2部（8チーム）
藤枝東高校
磐田東高校
岐阜工業高校
加藤学園暁秀高校
岡崎城西高校
飛龍高校
帝京可児高校
三重高校

平成22年度 静岡県高校総合体育大会 中部地区大会（男子サッカー）

中西部15校が県大会出場を目指す

男子の静岡県高校総体中部地区大会が4月10日に開幕した。プリンスリーグの参加校には県大会の出場権が与えられ、中部地区では藤枝明誠と藤枝東の中西部2校を含め5校が地区大会を免除される。この5校を除く34校、中西部勢は島田学園と静清工業からそれぞれ校名が変わった島田樟誠、静清など15校が参加し、1次リーグに臨む。8組に分かれて24日まで行われる1次リーグから、各組の上位2校が2次トーナメントに進出。2次トーナメントは16校で5月1日～4日に実施され、9校の県切符獲得を目指す。

なお、県大会は5月16日から6月5日まで行われる。

A	静岡北	科学技術	島田商業	静岡大成
B	藤枝北	吉田	藤枝西	聖光学院	島田工業
C	東海大翔洋	静岡市商業	島田樟誠	川根	庵原
D	静岡東	静岡西	静岡北	静清	
E	清水西	焼津中央	金谷	相良	
F	静岡	島田	榛原	静岡商業	
G	静岡城北	静岡南	清水国際	城南静岡	
H	清水東	大井川	清水南	静岡市立	

1次リーグブロック分け

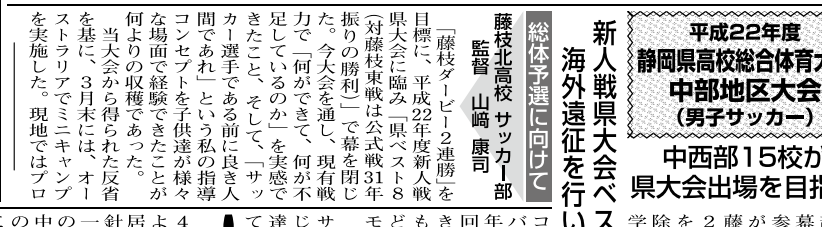
総体予選に向けて

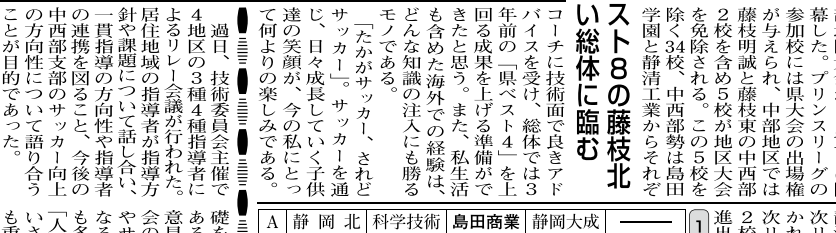
藤枝北高校 サッカー部 監督 山崎 康司

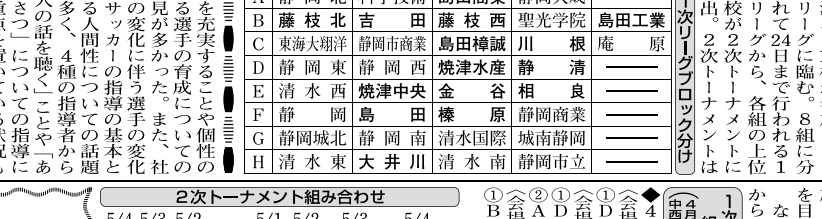
新人戦県大会ベスト8の藤枝北 海外遠征を行い総体に臨む

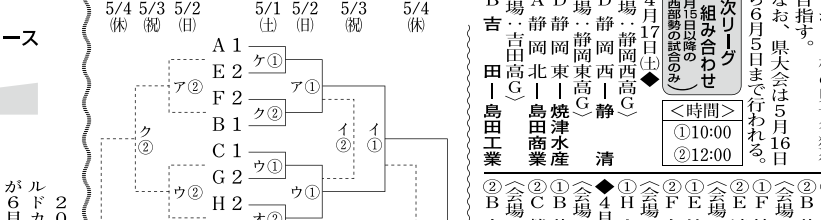
「藤枝ダービー2連勝」を目標に、平成22年度新人戦県大会に臨み「県ベスト8（対藤枝東戦は公式戦31年振りの勝利）」で幕を閉じた。今大会を通し、現有戦力で「何ができて、何が不足しているのか」を実感できたこと、そして、「サッカー選手である前に良き人間であれ」という私の指導コンセプトを子供達が様々な場面で経験できたことが何よりの収穫であった。

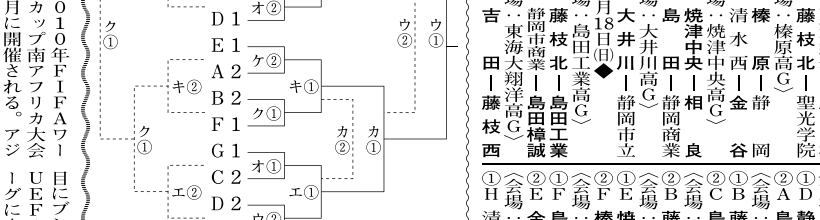
当大会から得られた反省を基に、3月末には、オーストラリアでミニキャンプを実施した。現地ではプロ

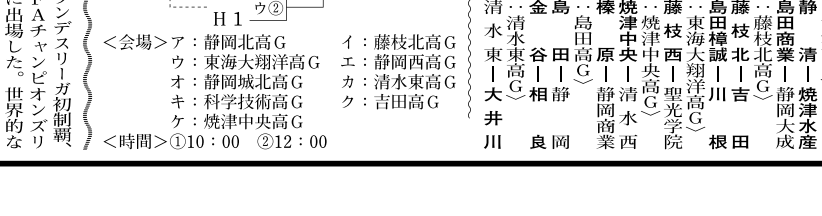












技術委員会

㈶静岡県サッカー協会 中西部支部技術委員長 福與 吉晴

3種4種リレー会議を終えて

過日、技術委員会主催で4地区の3種4種指導者によるリレー会議が行われた。居住地域の指導者が指導方針や課題について話し合い、一貫指導の方向性や指導者の連携を図ること、今後の中西部支部のサッカー向上の方向性について語り合うことが目的であった。

棒原・島田・藤枝・焼津の順で各地区の3種（中学校・クラブ）の指導者と4種（小学団）の指導者が2時間程度のディスカッションを行った。議題は、育てたい選手の理想像や種別の課題、他種別への要望であり、最後に中学校区ごとの懇談が行われた。

内容は、技術的な面で基礎を充実することや個性のある選手の育成についての意見が多かった。また、社会の変化に伴う選手の変化やサッカーの指導の基本となる人間性についての話題も多く、4種の指導者から「人の話を聴く」ことや「あいさつ」についての指導にも重点を置いている状況も報告された。また、地域のサッカーの質の向上については、育成システムかそれとも指導者の資質向上か、個の育成かそれともチーム強化策なのかなどについて意見が出された。このように、地域の指導者が課題を整理し、改善策を焦点化することが技術委員会の意図である。よって、今後も指導者がこうしたディスカッションをしていくことの重要性を感じた。

選手を変えられるのは指導者であり、今回のような指導者のディスカッションを機に、選手の個性を尊重しながら、種別を超えたビジョンを持って指導できるコーチがこの地域に多く存在することが育成・強化の基本であると感じている。

新たな挑戦

中西部ヤングサッカーニュース 企画構成編集責任者 滝本 義三郎

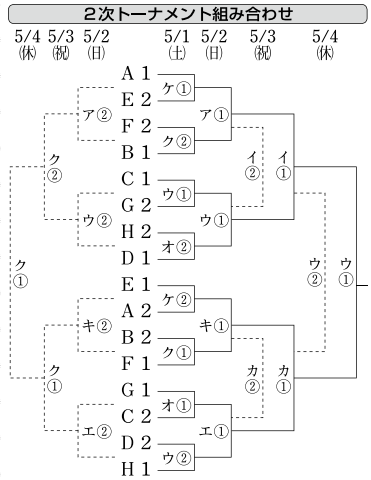
～長谷部の挑戦～

2010年FIFAワールドカップ南アフリカ大会が6月に開催される。アジア地区予選を勝ち抜いて4年に1度の大舞台に藤枝市で育った長谷部誠選手（青島東SS－青島中－藤枝東高－浦和レッズ－ドイツ・ヴォルフスブルク）が出場するだろう。日の丸を胸に世界の名選手達と闘う姿を想像し、指導者の一人として最高の喜びである。

2002年にプロ選手となり必死に練習に打ち込んだ。Jリーグ制覇、ニューヒーロー賞・J・リーグ優秀選手賞等を受賞した。ジーコジャパンで初の日本代表に選ばれ、オシム・岡田ジャパンでも代表に選ばれた。2007年、夢であったワールドカップ出場を果たすため、各国代表選手の集う高いレベルのヨーロッパのサッカーに挑戦した。2年目にブンデスリーガ初制覇、UEFAチャンピオンズリーグに出場した。世界的な選手と闘い違いさを身につけた。今や日本代表の中心選手として誰もが注目する選手となった。これらの輝かしい実績の礎は、常に目標を掲げて挑戦する強い心や向上心の塊の持ち主だからであろう。彼自身は当地域の多くの指導者や応援してくれる皆さんのおかげであると感謝の心を忘れていない。

長谷部選手は子どものころからワールドカップに出場したいという夢を持っていた、という。常に向上心を持って挑戦する気持ちは人生においても大切なことである。当地域に所属する若いサッカーマンが夢に向かって挑戦することは、長谷部選手の願いでもある。

2次トーナメント組み合わせ



＜会場＞
ア：静岡北高G　イ：藤枝北高G
ウ：東海大翔洋高G　エ：静岡西高G
オ：静岡城北高G　カ：清水東高G
キ：科学技術高G　ク：吉田高G
ケ：焼津中央高G
＜時間＞①10：00　②12：00

1次リーグ組み合わせ

（4月15日以降の中西部勢の試合のみ）

＜時間＞
①10:00
②12:00

◆4月17日(土)◆
〈会場：静岡西高G〉
①D 静岡西－静清
〈会場：静岡東高G〉
①D 静岡東－焼津水産
②A 静岡北－島田商業
〈会場：吉田高G〉
①B 吉田－島田工業
〈会場：東海大翔洋高G〉
①C 東海大翔洋－川根
②B 藤枝北－聖光学院
〈会場：榛原高G〉
①F 榛原－静岡
②E 清水西－金谷
〈会場：焼津中央高G〉
①E 焼津中央－相良
②F 島田－静岡商業
〈会場：大井川高G〉
①H 大井川－静岡市立

◆4月18日(日)◆
〈会場：島田工業高G〉
①B 藤枝北－島田工業
②C 静岡市商業－島田樟誠
〈会場：東海大翔洋高G〉
②B 吉田－藤枝西
〈会場：東海大翔洋高G〉
①C 東海大翔洋－川根
②B 藤枝北－聖光学院
〈会場：藤枝北高G〉
②A 島田商業－静岡大成
〈会場：藤枝北高G〉
①B 藤枝北－吉田
〈会場：焼津中央高G〉
②C 島田樟誠－川根
〈会場：東海大翔洋高G〉
②B 藤枝西－聖光学院
〈会場：焼津中央高G〉
①E 焼津中央－清水西
〈会場：島田高G〉
②F 榛原－静岡商業
〈会場：清水東高G〉
②E 金谷－相良
〈会場：清水東高G〉
①H 清水東－大井川

◆4月24日(土)◆
〈会場：静清高G〉
①D 静清－焼津水産
〈会場：静岡大成
②A 島田商業－静岡大成
〈会場：藤枝北高G〉
①B 藤枝北－吉田
〈会場：清水東高G〉
②C 島田樟誠－川根
〈会場：東海大翔洋高G〉
②B 藤枝西－聖光学院
〈会場：焼津中央高G〉
①E 焼津中央－清水西
〈会場：島田高G〉
②F 榛原－静岡商業
〈会場：清水東高G〉
①F 島田－静岡
②E 金谷－相良
〈会場：清水東高G〉
①H 清水東－大井川

中西部
ヤングサッカーニュース
2010 5

発行人／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　杉本直己　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

W杯南アフリカ大会
長谷部 誠選手 日本代表入り



5月10日、FIFAワールドカップ南アフリカ大会に出場する日本代表23名が発表され、藤枝市出身の長谷部誠選手（ヴォルフスブルク）が選出された。長谷部選手にとっては初のワールドカップ出場で、いよいよ夢の舞台に立つ。6月11日に開幕する南アフリカ大会での、日本代表の予選リーグ突破、そして4強入りを目指して、長谷部選手の活躍を期待したい。

日本の試合日程
◎6月14日(月)16時～（日本時間14日23時）
VS カメルーン〈会場：マンガウング／ブルームフォンテーン〉
◎6月19日(土)13時30分～（日本時間19日20時30分）
VS オランダ〈会場：ダーバン〉
◎6月24日(木)20時30分～（日本時間25日3時30分）
VS デンマーク〈会場：ルステンブルク〉

シニア全国大会
藤枝で2年ぶりの開催
静岡県選抜が出場

第10回 全国シニア（60歳以上）サッカー大会

60歳以上のシニアの全国大会が、2009年の開催以来2年ぶりに藤枝市で、5月28日～30日の3日間の日程で行われる。全国9地域の代表15チームと開催県静岡の代表を合わせた16チームが参加。4組に分かれてリーグ戦を行い、各組の1位4チームが決勝トーナメントに進む。静岡県からは東海代表で県選抜と、開催県枠で昨年度の県シニア60リーグ優勝の浜松怪童クラブが出場する。

※組み合わせは5月14日に決定。

シニア（70歳以上）サッカーフェスティバル

70歳以上のサッカーフェスティバルも藤枝市で同時開催される。静岡県選抜など16チームの参加予定で、各チーム1日1試合の3試合を行う。

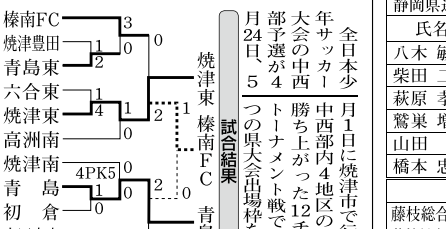
静岡県選抜60の中西部勢	
氏名	所属チーム
青木 敏樹	藤枝東FC
村松 眞行	焼津飛鳥SC
静岡県選抜70の中西部勢	
氏名	所属チーム
八木 敏夫	藤枝FC
柴田 二郎	焼津飛鳥SC
萩原 孝治	藤枝FC
鷲巣 増雄	焼津飛鳥SC
山田 晃	藤枝東FC
橋本 忠廣	藤枝東FC

試合会場
藤枝総合運動公園サッカー場
藤枝総合運動公園陸上競技場
藤枝市民グラウンド
中外製薬藤枝工場グラウンド

第34回 全日本少年サッカー大会中西部予選
焼津東、青島、榛南FCが県大会へ

全日本少年サッカー大会の中西部予選が4月24日、5月1日に焼津市で行われた。中西部内4地区の各予選を勝ち上がった12チームが、トーナメント戦で争い、3つの県大会出場枠を争った。

試合結果



第31回 松永杯争奪中西部中学生サッカー大会
POCARI SWEATカップ静岡県U-15チャンピオンシップ2010中体連の部 中西部地区予選
優勝 藤枝中学校
藤枝、青島、高洲が県大会出場

松永杯争奪中西部中学生サッカー大会は、予選リーグを勝ち上がった16校による決勝トーナメントが4月24日から5月1日まで行われ、POCARI SWEATカップ静岡県U－15チャンピオンシップの出場権3枠を争った。

準決勝は、1戦目で前半に先制した青島が後半に追いついた金谷をPK戦で振り切った。2戦目は、前後半に2点ずつを奪った藤枝が高洲の反撃を終盤の1点に押さえて勝利。青島と藤枝がまずは県大会出場を決めた。

金谷と高洲の3位決定戦は、開始12分に安藤優汰のゴールで高洲が先手を奪う。金谷はパスを繋ぐも最後の詰めを欠いたが、後半もロスタイムに松本聖矢が押し込んで追いついた。試合は延長戦でも決着せず、PK戦で高洲が競り勝ち、最後の県大会1枠を手にした。

青島と藤枝の決勝は、素早くパスを出し押し気味に進める藤枝が、前半ロスタイムに櫻井怜己のFKを杉本瑞希が決めて先制。後半23分にも杉本が相手のクリアボールを押し込み2点目を奪い、藤枝が5年ぶりの優勝を飾った。

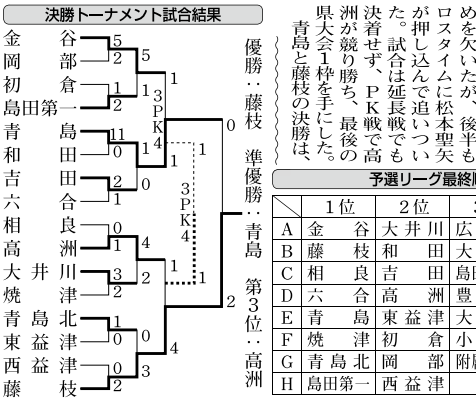
※県大会の組み合わせは3面に掲載


藤枝中学校


青島中学校


高洲中学校

決勝トーナメント試合結果



優勝：藤枝　準優勝：青島　第3位：高洲

予選リーグ最終順位

	1位	2位	3位	4位
A	金谷	大井川	広幡	――
B	藤枝	和田	大富	――
C	相良	吉田	島田第二	――
D	六合	高洲	豊田	大村
E	青島	東益津	大洲	川根
F	焼津	初倉	小川	中川根
G	青島北	岡部	附属島田	榛原
H	島田第一	西益津	港	葉梨

榛南FCジュニア
加藤 龍成

榛原川崎SSから、榛南FCへ生まれ変わり、第一歩を踏み始めました。その、初めの大会で、県大会出場のキップを手に入れることができました。これも選手全員の努力と、コーチの指導のおかげです。県大会では、1勝を目指してがんばりたいと思います。また、キャプテンとして、みんなを引っ張っていけるようにがんばりたいです。


榛南FCジュニア

青島SS
澤本 悠希

ぼくたち青島小は、藤枝や中西部の予選を勝ちぬき、県大会に出場することになりました。ここまでこれたのも、お父さん、お母さん、コーチなどぼくたちを支えてくれた人たちのおかげです。ぼくたちは、チームの仲間を信じ、苦しい場面もはげまし合い、最後まであきらめずに戦いたいと思います。県大会でも、チームワークとガッツでがんばります。


青島SS

焼津東SS
秋山 匠也

僕達は、サークルK、しずぎんと県大会出場を逃してきたので、全日少で県大会に行けるのはとてもうれしいです。ここまで来られたのは、監督やコーチ達、保護者の方々、応援してくれた焼津市内の他チームの仲間たちのおかげです。県大会では恩返しの意味をこめて県ベスト4を目指して頑張りたいです。



焼津東SS

新たな挑戦

静岡県立吉田高等学校
男子サッカー部
顧問
一木 太郎

～向上心～

この度、吉田高校のサッカー部顧問として着任した一木太郎です。私はこの吉田高校を平成7年度に卒業したOBでもあります。本校を卒業後は大学に進学し、平成18年に教員としてサッカーの指導の現場に立つことができました。そして、平成22年4月に吉田高校に着任。その間、全くと言っていいほど母校のために協力することができませんでした。15年の時を経て、選手時代、私にサッカーと人間性の大切さを教えてくれた母校のために、全力で恩返しをしたいと考えています。

私が選手時代にどうしても達成することができなかった「県大会ベスト8」を目標に掲げ、「選手の自主性を重んじること」「日々の練習を大切にすること」「生涯を通じてサッカーに親しむことができる確かな技術の修得」に全力をつくしたいと思います。

また、「サッカーを通して社会に貢献できる人間形成」の実現のために、本業である学校生活を大切にし、学校のために貢献できる活動や、基本的な生活習慣、礼儀・マナーの確立にも力を注いでいきたいと思います。

私も、まだまだ若輩者で経験も多くありません。今まで吉田高校サッカー部を支えてきて下さった、諸先輩方、先輩教諭、地域のサッカー関係者等々の暖かいご支援、ご協力、そしてご指導をいただきながら選手とともに成長していきたいと考えております。今後もよろしくお願いします。

中西部
ヤングサッカーニュース
2010 6
発行人／(財)静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

(財)静岡県サッカー協会中西部支部 平成22年度重点目標

１．全国大会の開催・運営

★高円宮杯第21回全日本ユース(U－18)サッカー選手権大会　1次ラウンド
　藤枝総合運動公園サッカー場　9月
★第15回東西大学交流サッカー大会
　藤枝総合運動公園サッカー場他　8月
★第10回全国シニア大会(60歳以上)
　藤枝総合運動公園サッカー場他　5月28日～30日

２．普及強化

昨年の藤枝明誠高校、藤枝順心高校の全国大会出場など当協会では明るい話題がありました。今年度も多くのチームが全国大会の出場を目指すためにアカデミー活動を充実させ将来の日本を代表する選手の育成と各チームの強化を図ります。
また、６月には２０１０ＦＩＦＡワールドカップ南アフリカ大会が開催されます。当地域から育った長谷部選手も出場し、若い選手たちの夢や希望を膨らませてくれていますので、地域住民のサッカーへの関心を高め生涯スポーツとしてのサッカーの普及に取り組みます。

３．指導者のレベルアップ

サッカーの技術を向上させるだけでなく、日常生活においてもルールとマナーを守る選手を育てられる指導者づくりを目指します。

４．審判員の養成と技術の向上

サッカーのレベルアップのためには審判員の技術向上が不可欠です。選手とともに試合を作り上げ、地域のサッカーの向上のためにより良い審判員の養成をしていきます。

平成22年度 (財)静岡県サッカー協会中西部支部 総会



平成22年度の(財)静岡県サッカー協会中西部支部総会が、５月22日にザ グランドティアラ藤枝で開かれた。初めに富澤静雄会長が「昨年も多くの事業が開催されみなさんの協力で無事終了した。また各種別で中西部のチームが活躍してくれ、盛り上げてくれた。今年も協力をお願いしたい」と挨拶された。藤枝市出身の長谷部誠選手のW杯出場にも「うれしいこと。活躍してもらいたい」と述べられた。
続いて議事では、役員改選により野中伸行氏の中西部理事長就任などが承認され、また昨年度の事業報告と収支決算報告、今年度の事業計画と収支予算などの説明が行われ、これらも異議なく承認された。
最後に、昨年度に好成績を収めたチームや選手などの表彰が行われ、表彰状と記念品が贈られた。



平成21年度　(財)静岡県サッカー協会中西部支部　功労表彰者（敬称略）

(1) 功労者

鈴木　民男（前中西部支部役員）　多々良　和之（前中西部支部役員）

(2) 優秀指導者

増田　勝紀（藤枝市役所サッカー部）

(3) 優秀団体

藤枝市役所サッカー部
　第39回全国自治体職員サッカー選手権大会　準優勝
矢崎バレンテフットボールクラブ
　第44回東海社会人サッカーリーグ　優勝
藤枝明誠高校サッカー部
　第88回全国高校サッカー選手権大会静岡県大会　優勝
藤枝順心高校サッカー部
　第13回全日本女子ユース（U-18）サッカー選手権大会　第３位

(4) 優秀選手

日本スポーツマスターズ２００９富士山静岡大会　優勝
　尾白　幸生（藤枝ＦＣ）　藤野　大（藤枝ＦＣ）
　平口　一利（ＮＰＯ藤枝東ＦＣ）　福与　久信（ＮＰＯ藤枝東ＦＣ）

シニアの全国大会 藤枝で開催

第10回全国シニア（60歳以上）サッカー大会

中西部支部の今年度の重点目標の一つ「全国大会の開催・運営」に含まれる、全国シニア(60歳以上)サッカー大会が５月28日から30日まで藤枝市で開催された。中西部内のシニアチームの関係者が運営に携わり、無事３日間の大会を終えた。

静岡県選抜60予選リーグ突破ならず 中西部勢２名参加

東海予選を勝ち抜いて出場した静岡県選抜60は、函館四十雀ＦＣ60に１対０で白星発進。２戦目はあしがるサッカー富山に終盤の得点で辛勝して、勝点を６に伸ばした。だが、最終戦で同じ勝点６の埼玉シニア60に１失点して敗れ、予選リーグで２位となり、決勝トーナメント進出を逃した。



静岡県選抜70、後列左から鷲巣増雄選手、八木敏夫選手、橋本忠廣選手、前列左から柴田二郎選手、萩原孝治選手、山田晃選手



静岡県選抜60の村松眞行選手（左）と青木敏樹選手

Bグループ	富山	埼玉	静岡	函館	勝点	得失差	順位
あしがるサッカー富山		●0-4	●0-1	△0-0	1	-5	4
埼玉シニア60	○4-0		○1-0	○3-0	9	8	1
静岡県選抜60	○1-0	●0-1		○1-0	6	1	2
函館四十雀FC60	△0-0	●0-3	●0-1		1	-4	3

60歳以上試合結果

Aグループ	熊本	静岡	北海道	東北	勝点	得失差	順位
熊本オールドキッカーズ		△1-1	○2-1	○2-1	7	2	2
静岡県選抜70	△1-1		○6-0	○1-0	7	7	1
北海道七十雀SC	●1-2	●0-6		●0-1	0	-8	4
東　北　70	●1-2	●0-1	○1-0		3	-1	3

70歳以上試合結果

シニア(70歳以上)サッカーフェスティバル

静岡県選抜70グループ1位 中西部勢6名参加

60歳以上と同時開催された70歳以上のサッカーフェスティバルは、16チームが本オールドキッカーズと2勝1分の勝点7で並ぶも、得失点差で上回り、グループ1位となった。
静岡県選抜70は熊本オールドキッカーズと2勝1分の勝点7で並ぶも、得失点差で上回り、グループ1位となった。
静岡県からは県選抜70が出場し、中西部勢6選手が参加した。静岡県選抜70は熊本オールドキッカーズと2勝1分の勝点7で並ぶも、得失点差で上回り、グループ1位となった。

エスパルスSS藤枝 第3位

東海大会へ 全国大会出場目指す



静岡県予選 3次決勝トーナメント戦

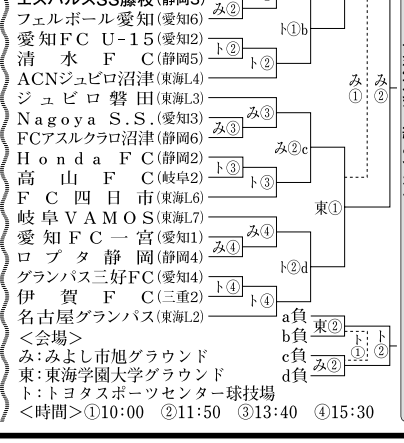
POCARI SWEAT カップ静岡県U－15チャンピオンシップのクラブの部を兼ねる日本クラブユース選手権（U－15）大会静岡県予選は、2次上位リーグ戦を勝ち上がった16チームによる3次決勝トーナメント戦が5月8日から23日まで行われ、エスパルスSS藤枝が3位となり、5年ぶりの東海大会出場を決めた。
初戦でヤマハジュビロ浜松、2回戦でFCアスルクラロ沼津に競り勝ったエスパルス藤枝は、準決勝で優勝した浜名JYクラブと対戦した。
前半5分に先手を許すも、相手のスピードに慣れると、25分に伊東夏央のクロスでオウンゴールを誘い振り出しに戻した。後半13分にFKから再びリードを許すが、34分に岸開登のクロスを山口大貴が頭で合わせてまたも追いつき、終盤で粘りをみせたがPK戦の末に惜敗した。
3位決定戦でロプタ静岡と対戦したエスパルス藤枝は、後半に平沢一騎のシュートで先制するも、その後に同点とされ、PK戦で辛くも勝利した。
（試合結果は2面に掲載）

日本クラブユースサッカー選手権(U－15)大会

東海大会

今年度から始まった東海地域リーグ（U－15）参戦のクラブ7チームと、各県予選を勝ち上がった17チームを合わせた24チームが出場する、日本クラブユースサッカー選手権（U－15）東海大会が、7月3日から17日まで愛知県で行われる。これに静岡県予選で3位となったエスパルスSS藤枝が5年ぶりに出場する。
昨年まで行われた東海大会出場決定地域リーグがなくなり、トーナメント戦のみで争われる。そして、上位5チームが全国大会（8月14日～23日・Jヴィレッジ）に出場する。また、今回から日本クラブユース選手権（U－15）大会デベロップカップ8月17日～23日・Jヴィレッジが実施され、6・7位チームに出場権が与えられる。エスパルスSS藤枝には、初の全国大会出場を目指して頑張ってほしい。

東海大会 組み合わせ



<会場>
み：みよし市旭グラウンド
東：東海学園大学グラウンド
ト：トヨタスポーツセンター球技場
<時間>①10:00　②11:50　③13:40　④15:30

新たな挑戦

島田市サッカー協会
理事長
紅林　豊

～サッカーに関わり続ける人の育成～

先日、藤枝市で開催された全国シニア（60歳、70歳以上）の大会に関わり、ピッチを駆け回る「永遠のサッカー少年」のプレーに感銘を受けた。何歳になっても夢中にボールを追いかけ、楽しさの中に厳しさを求める姿に、サッカーの持つ魅力の奥深さを感じた。
さて、島田市のサッカー協会に所属する人口が少しずつ減少している。少子化の中、サッカーを始める子供が減っていることが要因のひとつであるが、であるならばキッズ、ジュニア年代でサッカーの楽しさに触れ、中学、高校、大学さらに社会人、シニアまでサッカーをこよなく愛する「永遠のサッカー少年」を誕生させることも大切なことではないか。サッカーの関わりはなにもプレーヤーだけではない。指導者、レフリー、サポーター、ドクター、保護者、仲間、施設関係者等あらゆる役割を担う人間が関わりながらサッカー環境をつくりあげている。取り巻くまわりの人や物を大切に思う気持ち、いわゆるリスペクトの精神をキッズ、ジュニア年代からしっかりと育み、あらゆる役割でサッカーに関わり続ける人間が地域に増えていけば、底辺の拡大にきっとつながるであろう。
この度、島田市のサッカー協会理事長という立場になったわけであるが、地域のサッカーを支える皆様方と手を携え、一緒に汗をかきながら取り組んでいきたい。あわせて自分自身が「永遠のサッカー少年」でありつづけるために、サッカーの持つ魅力を探求しながら楽しんでプレーし続けていきたいと思う。

中西部
ヤングサッカーニュース
2010 7
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

W杯で羽ばたく 長谷部 誠
静岡県、藤枝市から表彰

２０１０ＦＩＦＡワールドカップ南アフリカ大会が６月11日から７月11日まで開催された。長谷部誠選手（青島東ＳＳ－青島中－藤枝東高）が日本代表ゲームキャプテンとして決勝トーナメント進出の原動力となった。パラグアイ戦では激闘の末、ＰＫ戦で敗退しベスト８の壁を破れなかったが、日本サッカーの歴史に名を残す快挙であった。日本戦４試合は藤枝市内でパブリックビューングが実施され、多くの市民等が応援に駆けつけた。

７月９日には静岡県知事顕彰を受賞した。また、地元藤枝市では雨天の中、約１０００人の市民が集まり、北村市長より藤枝市スポーツ栄誉顕彰が授与された。



写真提供：藤枝市

試合結果
〈予選リーグ〉
日本 １－０ カメルーン
日本 ０－１ オランダ
日本 ３－１ デンマーク
〈決勝トーナメント〉
日本 ０－０ パラグアイ（ＰＫ３－５）

大会観戦記
編集責任者　滝本　義三郎

南アフリカ大会で日本代表チームにサプライズ（驚き）があった。それは、ゲームキャプテン長谷部誠である。岡田監督は「彼はチームのメンバーに信頼が厚い。常に先頭に立って練習に取り組む。代表チームに新しい流れを期待した」と語った。現地で初戦のカメルーン戦に歴史的勝利の瞬間を見届けることができた。世界のスーパースター、エース選手と並んで先頭で入場した勇姿は堂々として勝負師の顔であった。

この一戦が日本代表に自信と勇気をもたらし、次のオランダ戦やデンマーク戦と見事な闘いに繋がっていった。

Ｗ杯は国と国との威信をかけた闘いである。全世界の地域に放映され、勝てば大きな歓喜と称賛があり、負ければ敗戦国として屈辱を浴びる、まさにサッカーは勝負である。長谷部選手の献身的な働きとチームを鼓舞する闘争心はチームを団結に導いた。決勝トーナメント進出によって、世界のメディアが一斉に侍ブルーを称賛した。個々の力はまだ弱くてもチーム一丸となって勝利に向かって一生懸命に挑戦する日本代表の勇姿は日本国中のサポーターに勇気と感動を与えた。「サッカーは人生のドラマ」である。当地域からの長谷部選手に続く日本代表の誕生がこれからの楽しみである。

第19回 全日本高校女子サッカー選手権大会
東海地区予選
藤枝順心 東海準優勝 ７年連続で全国へ 目指せ全国制覇！

８校がトーナメント戦で争う全日本高校女子選手権東海地区予選は、６月26日、27日に三重県で行われた。静岡１位で出場した藤枝順心は、初戦で愛知３位の椙山女学園に平野麻美のハットトリックなどで大量15点を奪い圧勝し、上位４校に与えられる全国大会の出場権を獲得した。

準決勝では愛知１位の聖カピタニオ女子と対戦し、終始ボールを支配。前半に３得点すると、後半にも１点を加えて快勝した。

決勝は常葉学園橘との対戦となったが、雷が鳴り出したため決勝のみが中止となり、７月３日に会場を藤枝順心高校に移して行われた。序盤からペースをつかみ、５分に阪口萌乃のパスを植村祥子が押し込み先制点を奪う。だが、21分にシュートがクロスバーの上を叩くなど、攻め込むが追加点を奪えずにいると、後半に入り除々に相手の出足が早くなり、17分にパスをカットされ速攻で同点に追いつかれた。さらに、32分にＣＫから逆転弾を許すと、ロスタイムには攻めに掛ったＤＦの裏を突かれて駄目押しとなる３点目を奪われ、万事休す。準優勝となり７連覇を逃した。

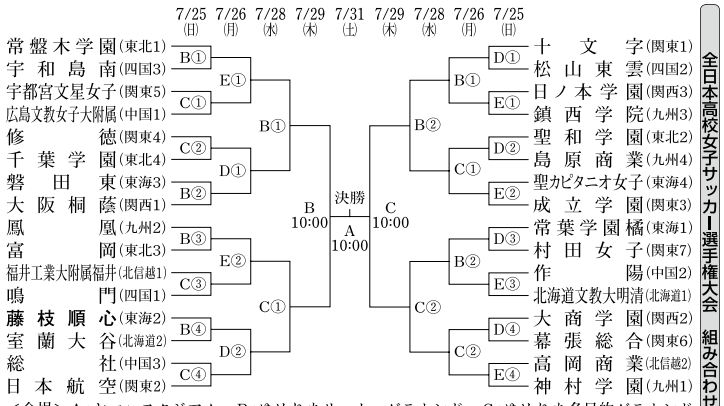
試合結果
常葉学園橘 3－1 藤枝順心学園
椙山女学園 1－0 富士見
聖カピタニオ女子 3－1 田原
富士宮北 1－0 磐田東
磐田東 3－0 橘
常葉学園橘 3－1 旭丘



全国大会
全日本高校女子サッカー選手権大会 組み合わせ

女子サッカー選手権大会は、７月25日から31日まで磐田市で開催される。32校がトーナメント戦で争い、高校女子の日本一を目指す。

本高校は全日７年連続出場の藤枝順心は、勝ち進めば２回戦で４大会連続の対戦となり前回は敗れている日本航空と、準々決勝では３年前の優勝校で翌年も準優勝している鳳凰との対戦が予想され、強豪校が続く。前回のリベンジを、そして５年ぶりの全国制覇を目指して全力で頑張ってほしい。



＜会場＞A：ヤマハスタジアム　B：ゆめりあサッカーグラウンド　C：ゆめりあ多目的グラウンド
D：竜洋スポーツ公園　E：磐田市陸上競技場
＜時間＞7/25＝①９:00　②11:15　③13:30　④15:45　7/26･28＝①９:30　②12:30

第34回 全日本少年サッカー大会 静岡県大会
焼津東ＳＳ 第３位

全日本少年サッカー大会静岡県大会が６月19日、20日に藤枝総合運動公園で行われた。中西部からは焼津東、青島、榛南ＦＣの３チームが出場。焼津東が準決勝に進み、優勝した高部ＪＦＣに敗れはしたが、３位入賞と健闘した。

１回戦でＳＨＯＮＡＩＦＣと対戦した焼津東は、成川刀麻と杉村知哉のゴールで２点をリードし、相手の反撃を１点に抑えて初戦を突破した。マーレＦＣとの２回戦では、開始２分に佐藤悠平が混戦から押し込み先制。その後も追加点は奪えなかったが優位に進めて勝利した。準決勝の相手は、２年前のサークルＫサンクスカップＵ－10の県大会を圧倒的な強さで制した高部ＪＦＣ。序盤はサイドへボールを展開し、相手ゴールに迫った焼津東だが、除々にプレッシャーが掛からなくなり、５分にＦＫを直接決められ先行を許す。後半７分にも２点目を奪われ、決勝進出とこの大会が兼ねるフジパンＣＵＰ・Ｕ－12大会の東海大会出場はならなかった。

試合結果
ＳＨＯＮＡＩＦＣ 2－1 焼津東ＳＳ
ジュビロＳＳ掛川 2PK3 マーレＦＣ
長泉アミーゴス 1－4 カワハラＦＣ
高部ＪＦＣ 5－0 相生ＳＳ
ＦＣＣＣ 2PK4 東大聖三
ＦＦＣＣＣ台士ＪＦＣ北 3－1 青島ＳＳ
ＦＣアスルクラロ沼津 0－1 榛南ＦＣ
源富隷島 3－0 バディＦＣ
高部ＪＦＣ 3－0 ＳＨＯＮＡＩＦＣ
カワハラＦＣ 2－1 延長 ＦＦＣＣＣ台士ＪＦＣ北
榛南ＦＣ 3－0 源富隷島

新たな挑戦
～サッカーを通したまちづくり・・・～

藤枝市サッカー協会
理事長
大塚　博巳

本年、世界はサッカーの２０１０Ｗ杯南アフリカ大会で熱く燃えました。

我が日本代表チームは、当地出身の長谷部誠選手をゲームキャプテンとして、力を１００％以上発揮し見事決勝トーナメントに進み、残念ながらパラグアイに惜敗したもののその雄姿（あきらめない気持ち・結束力）は私達国民に〝誇り・勇気・活力〟を印象深く残しました。長谷部選手には「お疲れ様・・」と労いを掛けると共に、今後益々の活躍を送りたいと思います。

さて、歴史と伝統ある〝藤枝市サッカー協会〟の理事長職を仰せつかり身の引き締まる思いです。まず藤枝サッカーを築いてこられた先輩諸兄に敬意と感謝を申し上げます。今後の更なる発展を目指し、所属の役員・会員はもとより、サッカーを支えていただいている皆様と共に力を合わせ活動してまいる所存です。

恵まれたサッカー文化の育まれたこの地域でサッカーに携わっている私達は、その感謝を忘れることなくこれを次世代に繋げる責務があります。そのため、

1、サッカー協会組織の充実・強化
各種委員会の連携を図り、結束力（一致団結）を高める

2、選手・指導者の育成（技術力強化）
サッカーを通した人間形成を高めると共に、チーム、個人のレベルアップに繋げる

3、ボランティア組織（サポーター）の拡大
老若男女・世代を超えてサッカーを楽しむ環境作り

あたりまえのテーマではありますが、以上の点を掲げ取り組みたいと思います。そして、日本代表チームの活躍が大きな経済効果をもたらしたことは皆さんご承知のとおりです。私達藤枝市サッカー協会も〝サッカーを通したまちづくり〟に微力ではありますが貢献できますよう意識を強く活動してまいる所存です。皆様方のご協力をお願い申し上げます。

中西部
ヤングサッカーニュース
2010 8
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第40回全国自治体職員サッカー選手権大会
藤枝市役所が王座奪還　26回目の優勝



全国自治体職員サッカー選手権大会は40回目の節目の大会で、例年より多い48チームが参加して7月24日から29日まで愛媛県松山市で行われた。２回戦から登場した藤枝市役所は決勝に勝ち進み、東京消防庁を再延長の末に３対２で破って王座を奪還し、26回目の優勝を果たした。

初戦で大量11点を奪い福井県庁を圧倒した藤枝市役所は、３回戦で鹿児島市役所に３点を奪って快勝した。４回戦は鳥取市役所を相手に、前半終了間際にＰＫを得ると後藤純一が決めて先制。だが後半13分、逆にこの試合唯一のシュートとなるＰＫを与えてしまい追いつかれる。しかし21分に混戦から鈴木貴繁が押し込み勝ち越すと、35分には平憲人のゴールで突き放した。

準決勝では中津市役所と対戦し、後半２分に今大会初めて先取点を奪われる。だが、11分に平の左ＣＫを杉山和弘が頭で合わせて同点とすると、延長戦に突入。そして前半９分、鈴木大揮のクロスを松浦寿幸が決め、決勝に駒を進めた。

決勝の相手は６年連続同一カードとなる東京消防庁で、２度のリードを追いつかれる苦しい展開に。後半２分に前島一省のＦＫを久保野崇士がヘッドで押し込み先行すれば、11分に追いつかれ、15分に後藤のヘディングシュートで再びリードすれば、終盤の32分にまたも同点とされる。試合は延長戦でも決着せず再延長にまでいき、引き分けかと思われた終了間際に、平のＦＫからの混戦で松井が押し込み、決勝点を奪った。

●試合結果●

〈２回戦〉
藤枝市役所　11―0　福井県庁
〈３回戦〉
藤枝市役所　3―0　鹿島市役所
〈準々決勝〉
藤枝市役所　3―1　鳥取市役所
〈準決勝〉
藤枝市役所　2―1　中津市役所
延長
〈決勝〉
藤枝市役所　3―2　東京消防庁
再延長

島田プリンセス 準優勝



2010 フジパンCUPユースU-12サッカー大会 静岡県大会（少女の部）

フジパンCUPユースU-12サッカー大会の少女の部の静岡県大会は、７月10日、11日の両日に竜洋スポーツ公園で開催され、島田プリンセスが準優勝、榛南ドルフィンキッカーズが３位となった。

予選リーグで２勝してブロック１位となった島田プリンセスは、準決勝に進み、蒲原ＦＣアミーゴレディースと対戦した。開始３分に混戦から抜け出した植田真寧が決めて先行すると、その後も積極的な攻め上がりで相手ゴールに詰め寄る。しかし、シュートは枠を捉えることができずにいると、後半17分にロングシュートで同点とされる。試合はこのままＰＫ戦に突入し、ＧＫ白井由香が３人を止めて３対２で勝利した。決勝では、自力に勝る富士川ファーストレディースに５失点して敗れるも、準優勝と健闘した。

第17回 全国クラブチームサッカー選手権大会　静岡県大会
FC.CHESS 優勝 東海地域大会出場



全国社会人クラブチームサッカー選手権静岡県大会は７月の18日から８月８日まで行われ、ＦＣ．ＣＨＥＳＳと焼津ＦＣが準決勝に進み、この２チームが激突した。前半13分に飯塚淳也のロングパスに反応した佐野孝洋がループシュートを決めてＣＨＥＳＳが先制。焼津も前線へ早くボールを送り相手ゴールへ詰め寄るも得点できず。サイドを基点にして攻めるＣＨＥＳＳが、28分に佐野のパスをＤＦに競り勝った梶山純がゴール左隅に流し込み２点目を奪い、焼津を突き放した。

決勝でＬＵＣＩＦＥＲＦＣと対戦したＣＨＥＳＳは、一進一退で進む中、前線へ選手が飛び出してゴール右隅に突き刺し、遂に均衡を破った。更に２分後には河村亮平のＦＫを佐野が頭で合わせて加点し、終盤の得点で勝利を手にした。

東海地域大会

ＦＣ．ＣＨＥＳＳが出場する全国クラブチーム選手権東海地域大会は、９月４日に三重県鈴鹿スポーツガーデンで行われる。４県から各１チームが参加して、２チームに与えられる全国大会の出場権をかけて争う。

ＦＣ．ＣＨＥＳＳは岐阜県代表と対戦し、これに勝てば全国大会出場が決まる。

試合日程
◎９月４日(土)　14：20～
〈会場：鈴鹿ＳＧ第３Ｇ〉
ＦＣ．ＣＨＥＳＳ　－　岐阜代表

全国クラブチーム選手権静岡県大会　試合結果



榛南ドルフィンキッカーズ 第3位

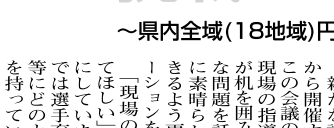


今季の榛南ドルフィンキッカーズは、ともに人数の少ない榛原ＦＣマリーンズと合同で登録しているチーム。中西部の３チームが集まった予選リーグＢブロックで、藤枝順心ＳＣジュニアと勝点４で並ぶも、得失点差で上回った榛南ドルフィンが１位となり準決勝に進んだ。富士川ファーストレディースと対戦し、相手の早い出足にルーズボールを拾われ押し込まれる。10分にミドルシュートで先制を許すと、後半も２点を奪われ敗れるも、粘り強いプレーをみせた。

予選リーグ最終順位

Aブロック	Bブロック
富士川ファーストレディース	榛南ドルフィンキッカーズ
ジュビロ磐田レディース	藤枝順心SCジュニア
有度ＦＣ Gratia	ラガッツァ焼津
Cブロック	**Dブロック**
蒲原FCアミーゴレディース	島田プリンセス
清水袖師SSS女子ピクシーズ	清水ＦＣ女子
21Century Girls	浜松ジョリィフィーユクラブ

決勝トーナメント試合結果



高円宮杯 第21回 全日本ユース(U-18)サッカー選手権大会
藤枝総合運動公園で開催

当中西部支部の今年度の重点目標で「全国大会の開催・運営」に挙げられている、高円宮杯全日本ユース（Ｕ－18）サッカー選手権大会が、藤枝総合運動公園サッカー場で開催される。参加24チームが６組に分かれて１次ラウンドのリーグ戦を行い、各組の上位２チームと３位の中の成績上位４チーム、計16チームが決勝ラウンドのトーナメント戦に進む。藤枝では９月４日、12日、18日に１次ラウンドの２試合ずつ、そして９月20日には決勝ラウンド１回戦の２試合が実施される。１次ラウンドでは、プリンスリーグ東海３位の静岡学園高校などが藤枝に集う。試合観戦において、選手、監督、指導者、審判員、フットサル登録選手、日本サッカー後援会員は、登録証やライセンス証、会員証を提示すれば入場可能なので、ユース年代のハイレベルな試合を見るいい機会となる。また、大会運営でも多くの中西部協会関係者が携わる。大会の成功を目指して協力していこう。

グループ分け

Aグループ	柏レイソルU-18	Dグループ	ジェフユナイテッド千葉U-18
	ジュビロ磐田ユース		立正大学淞南高校
	ヴィッセル神戸U-18		静岡学園高校
	サンフレッチェ広島F.Cユース		青森山田高校
Bグループ	清水エスパルスユース	Eグループ	横浜F・マリノスユース
	浦和レッズユース		三菱養和サッカークラブユース
	滝川第二高校		アビスパ福岡U-18
	流通経済大学付属柏高校		名古屋グランパスU18
Cグループ	コンサドーレ札幌U-18	Fグループ	広島観音高校
	愛媛ＦＣユース		市立船橋高校
	セレッソ大阪U-18		ＦＣ東京U-18
	東京ヴェルディユース		富山第一高校

藤枝会場試合日程
＜会場＞藤枝総合運動公園サッカー場

１次ラウンド組み合わせ

期日	時間	対戦
9/4(土)	11:00	Ｄ ジェフユナイテッド千葉ー立正大淞南
	13:20	Ｄ 静岡学園ー青森山田
9/12(日)	11:00	Ｄ ジェフユナイテッド千葉ー静岡学園
	13:20	Ｄ 立正大淞南ー青森山田
9/18(土)	11:00	Ｄ 立正大淞南ー静岡学園
	13:20	Ｃ コンサドーレ札幌ー東京ヴェルディ

決勝ラウンド１回戦 組み合わせ

期日	時間	対戦
9/20(祝)	11:00	グループＤ１位ーグループB/E/F3位
	13:20	グループＢ１位ーグループA/C/D3位

新たな挑戦
～県内全域(18地域)円卓会議〈1〉～

一般財団法人静岡県サッカー協会
中西部支部４種技術委員長
渡邉　啓介

去る６月７日・10日、ゴールデンサッカーアカデミー２０１０（以後ＧＳＡ）の一環として、県内全域円卓会議（中西部支部）が開催された。今回ヤングサッカーニュースの紙面をお借りし、５回にわたり会議の内容について、お伝えしたいと思います。

新たな試みとして今年度から開催することとなったこの会議の目的のひとつは、現場の指導者と技術委員会が机を囲み、抱えている様々な問題を話し合い選手たちに素晴らしい環境を提供できるよう更なるコミュニケーションを図ることです。

「現場の声をもっと聞いてほしい」という声を多々耳にしていました。また現場では選手育成・指導者養成等にどのような意見・要望を持っているのかを聞かせて頂き考えもあり、この会議の開催を企画致しました。

・協会に対して
・トレセンについて
・指導について
・大会スケジュールについて
・指導者養成について

の５項目の事前アンケートをお渡しし、当日全チームからご意見を伺いました。今回は第１回目の開催ということで、チームからの意見を伺うだけになってしまいましたが、今後はテーマ別少人数ディスカッション等、更にコミュニケーションが図れるよう、工夫を重ね進化させていけたらと考えております。

次回の報告からは、事前アンケートをもとに皆様から頂いた意見等を紹介させていただきます。

中西部
ヤングサッカーニュース
2010 9
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

優勝目指す





第46回 全国社会人サッカー選手権大会
おいでませ! 山口国体サッカー競技リハーサル大会

全国社会人サッカー選手権大会が10月15日から20日まで山口県で開催される。全国９地域の代表32チームによるトーナメント方式で争われ、２年ぶりの出場の矢崎バレンテFCと現チーム名では初出場となるshizuoka.藤枝MYFCが、共に初優勝を目指す。

なお、この大会の優勝、準優勝の２チームには、全国地域サッカーリーグ決勝大会の出場権が与えられる。但し、そのチームが各地域リーグで出場権を得ている場合は、４位までのチームに与えられる。

全国社会人サッカー選手権大会　組み合わせ







＜会場＞A：下関市営下関陸上競技場　B：下関市乃木浜総合公園(A)　C：下関市乃木浜総合公園(B)
D：県立おのだサッカー交流公園サッカー場　E：県立おのだサッカー交流公園多目的スポーツ広場人工芝(A)
F：県立おのだサッカー交流公園多目的スポーツ広場人工芝(B)
G：山口きらら博記念公園サッカー・ラグビー場　H：山口きらら博記念公園スポーツ広場

第65回 国民体育大会（ゆめ半島千葉国体） サッカー競技
静岡県選抜 全種別で本大会出場
第31回 東海ブロック大会

国民体育大会の東海ブロック大会は８月14日、15日に岐阜県大垣市で行われた。今回、東海からの本大会出場枠は成年男子、女子、少年男子の全てが２県ずつで、静岡県は全種別で本大会の出場権を獲得した。

成年男子

矢崎バレンテFC、藤枝市役所、芙蓉クラブの東海社会人リーグ勢から選出された15名中、14名が中西部選抜の静岡県選抜は、昨年敗れた三重県選抜と対戦。開始４分、池田未廣のFKを相手GKが弾いた所へ飛び込んだ萩田祐介がヘッドで押し込み、早くも先手を取る。後半16分にも池田のCKを井口大輔が頭で合わせて追加点を奪い、リベンジを果たして、２年ぶりの本大会出場を決めた。

静岡県 2－0 三重県

女子

６名の中西部関連選手が選出された静岡県選抜は、愛知県選抜と対戦して、前半から優位に進める。そして17分に長谷川絵梨のパスを受けた堀佳織が決めた１点で勝利して、４年ぶりに本大会の出場権を獲得した。

静岡県 1－0 愛知県

少年男子

６月13日から行われた東海U－16リーグを国体予選として、４県の総当たり２回戦で争われた。静岡県選抜は前半戦３試合を２勝１敗で、三重県に続く２位で折り返した。

８月13日から15日まで国体予選会場で実施された後半戦は、まず岐阜県に６対１で大勝。愛知県には後半の１得点で勝ちを収め、１試合を残して全勝の三重県と共に本大会行きを決めた。最終日は三重県と１位の座をかけて対戦し、５対１で快勝して勝点、得失点差で並ぶも、総得点で及ばず２位となった。

中西部の選手では山崎省吾（藤枝明誠高校２年）がサイドバックやサイドハーフで、西川雄人（藤枝東高校１年）がセンターバックで出場し、静岡県の本大会出場に貢献した。


西川 雄人


山崎 省吾

岐阜県	1－0	愛知県	静岡県	7－0	岐阜県
三重県	1－0	静岡県	三重県	4－2	愛知県
静岡県	1－0	愛知県	静岡県	3－1	愛知県
三重県	9－2	愛知県	三重県	1－0	岐阜県
静岡県	6－1	岐阜県	静岡県	1－0	愛知県

女子　静岡県選抜の中西部勢

位置	氏　名	登録チーム
DF	寺田　玲子	静岡産業大学磐田ボニータ（藤枝順心高校出身）
DF	杉山　紫乃	清水フットボールクラブ女子（藤枝市出身）
DF	佐野　弘子	島田プリンセス
MF	左山　桃子	静岡産業大学磐田ボニータ（藤枝順心高校出身）
MF	長谷川絵梨	清水フットボールクラブ女子（藤枝市出身）
MF	杉本あすか	藤枝東FC焼津クィーンズ
MF	※江上 成美	日本体育大学（藤枝西高校出身）

※江上選手は東海大会不参加

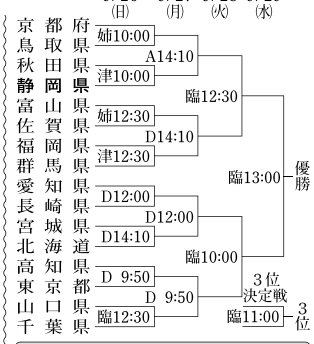
成年男子　静岡県選抜の中西部勢

位置	氏　名	登録チーム	位置	氏　名	登録チーム
GK	長谷川　敦	藤枝市役所	MF	松浦　寿彰	藤枝市役所
GK	宮城　達也	矢崎バレンテFC	MF	池田　未廣	矢崎バレンテFC
DF	中村　宏昭	矢崎バレンテFC	MF	河井雄一郎	矢崎バレンテFC
DF	小林　公平	芙蓉クラブ(島田市出身)	MF	平　憲人	藤枝市役所
DF	大森　敬之	矢崎バレンテFC	FW	萩田　祐介	矢崎バレンテFC
DF	久保野崇士	藤枝市役所	FW	井口　大輔	矢崎バレンテFC
DF	杉本　康介	矢崎バレンテFC	FW	杉山　和弘	藤枝市役所

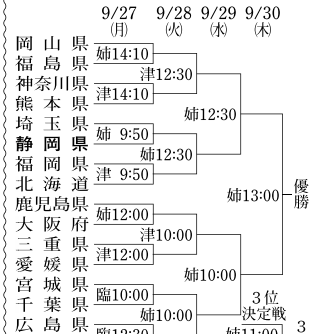
目指せ 優勝!!

９月26日から30日まで千葉県市原市で行われる国体サッカー競技で、全種別に出場する静岡県。初戦で少年男子が青森県、女子は大学生主体の埼玉県、そして成年男子は【順位】①三重県②静岡県③岐阜県

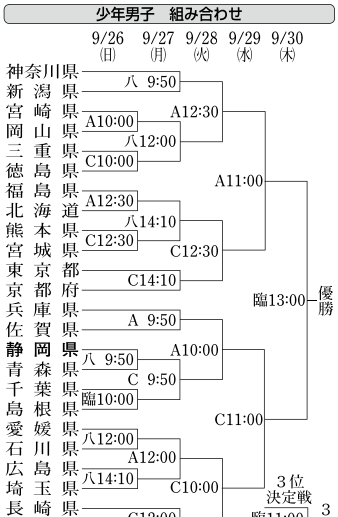
成年男子　組み合わせ



女子　組み合わせ



少年男子　組み合わせ



＜会場＞臨：市原緑地運動公園臨海競技場　姉：姉崎公園姉崎サッカー場
八：八幡公園八幡球技場(人工芝)　津：市津運動広場多目的広場
A：市原スポレクパークA　C：市原スポレクパークC　D：市原スポレクパークD(人工芝)

新たな挑戦

一般財団法人静岡県サッカー協会
中西部支部４種技術委員長
渡邉　啓介

～県内全域(18地域)円卓会議〈2〉「協会に対して」～

県内18地域円卓会議報告第２回目は「協会に対して」を取り上げてみます。

今回皆様からもっとも多く頂いた意見は、８人制についてでした。

- ルール変更が多い
- １人審判には無理がある
- 中学生になった時に戸惑う選手が出る
- 11人制の大会があっても良い

等の意見が挙げられました。

会議の中で櫻井県技術委員長から「８人制は11人制に比べて圧倒的にゲームに関わる選手が増え、また個々の選手がボールに触る機会が増えるため、技術の向上にはとても重要だと考える。また審判については絶対１人ということではなく、臨機応変に対応できるよう審判委員会とも検討をしていく」といった話があり、それが回答の一部になったと思っています。また、練習試合等を利用して積極的に11人制を導入する事で、選手が戸惑いを感じなくなるのではないでしょうか。

８人制以外の意見では、

- 少年用ゴール購入の際の補助はないか
- 芝生グラウンドの普及
- トップダウンの通達が多い＝現場の把握が必要
- 中体連の充実に向けての対策は？
- 登録料が高い（４種からの協会収入が４種の為に使われていないように感じる）

等がありました。

今回の会議で皆様の考えていること・多方面に渡る要望が目に見える形になりました。一緒になって考え、実行すれば解決できることもあると思います。子供たちの為に何ができるか？という共通の目的に向けて、協会・チーム運営者・指導者・保護者が一丸となって惜しみない努力を傾けていきましょう。

中西部
ヤングサッカーニュース
2010 10
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

島田第一SSS 初優勝 全国大会出場

バーモントカップ 第20回全日本少年フットサル大会 静岡県大会



島田第一が初の全国へ。９月19日にエコパアリーナで行われたバーモントカップ全日本少年フットサル静岡県大会で島田第一が初優勝し、中西部勢では平成９年度に全国準優勝した細江以来の全国切符を手にした。

島田第一は１次リーグ２戦を快勝してブロック１位となり決勝トーナメントに進出。１回戦でSJFSC・PIVOと対戦し、前半に先制されるも後半に３点を奪い逆転した。準決勝では静岡中田Aとの１点を争う接戦を、終盤の後半９分にあげた平松昇の得点で振り切った。そして、決勝はCONSIGO／FRONTIRE FC Aに先行すれば追いつかれる一進一退の展開で、２対２から延長戦に突入。延長でも動きが衰えない島田第一は、この試合全得点をあげた速水慶作のゴールで前後半に１点ずつを加えて突き放した。

全国大会は２０１１年１月４日～６日に東京都で開催される。



Hero FC JrユースA 準優勝東海大会へ

TPO CUP 第16回全日本ユース（U-15）フットサル大会 静岡県大会

TPO CUP全日本ユース（U-15）フットサル大会静岡県大会が10月２日に藤枝フットサルスタジアムで行われ、Hero FC JrユースAが準優勝した。

２戦２勝して１次ラウンドを突破し準決勝に進んだHero FC Aは、清水FC白に、山本勇が２得点、加納健人が４得点をあげ、６対４で勝利して決勝に駒を進めた。決勝の相手はロプタ静岡。前半３分に加納のドリブルシュートで先制し、その後２失点するも、11分に河村拓真が決めて同点で折り返す。疲れが見えた後半は失点を重ね、山本のゴールで１点を返すに止まり、３対６で敗れるも、初出場で、第８回大会で優勝した大井川中学校以来の東海大会出場を決めた。

東海大会は11月20日に三重県鈴鹿市で行われる。

Bブロック	Hero A	北浜中A	エスパ静岡	勝点	順位
Hero FC JrユースA		○4-1	○4-2	6	1
北浜中A	●1-4		●0-4	0	3
エスパルスSS静岡	●2-4	○4-0		3	2

1次ラウンド 試合結果（中西部勢のブロックのみ）

Dブロック	雄踏A	明誠A	清水FC青	勝点	順位
FC雄踏A		○4-1	○4-2	6	1
藤枝明誠SCA	●1-4		●0-4	0	3
清水FCジュニアユース青	●2-4	○4-0		3	2

清水FCジュニアユース白 4-6
Hero FC JrユースA 3-6
ロプタ静岡 7-6
FC雄踏A 6

決勝ラウンド 試合結果

女子 静岡県選抜 第3位

第65回国民体育大会（ゆめ半島千葉国体）サッカー競技

千葉国体のサッカー競技は９月26日から30日まで行われ、女子の静岡県選抜が過去最高の３位となった。

準決勝では、埼玉県と対戦した静岡県は、長谷川絵梨（清水FC女子・藤枝市出身）が先制ゴールを決めると、後半も２点を追加して快勝した。準々決勝では北海道に前半22分、FKのこぼれ球を寺田玲子（静岡産業大学磐田ボニータ・藤枝順心高校出身）が押し込んだ１点で競り勝ち、12年ぶりに４強入りした。

岡山県との初戦で埼玉県と対戦した静岡県は、長谷川絵梨（清水FC女子・藤枝市出身）が先制ゴールを決めると、後半も２点を追加して快勝した。準々決勝では北海道に前半22分、FKのこぼれ球を寺田玲子（静岡産業大学磐田ボニータ・藤枝順心高校出身）が押し込んだ１点で競り勝ち、12年ぶりに４強入りした。

準決勝では、岡山県との試合は動き、７分に先制するも、31分には長谷川がFKを直接決めて突き放し、昨年のリベンジを果たした。後半に試合は動き、７分に先制するも、31分には長谷川がFKを直接決めて突き放し、昨年のリベンジを果たした。



女子 試合結果

静岡県 3-0 埼玉県（1回戦）
静岡県 1-0 北海道（準々決勝）
静岡県 2-1 岡山県（準決勝）
静岡県 2-0 三重県（3位決定戦）

FIFA U-17女子ワールドカップ トリニダード・トバゴ2010

U-17日本女子代表 準優勝

樫本芹菜、川島はるな 両選手が貢献

９月５日から25日までトリニダード・トバゴで行われたFIFA U-17女子ワールドカップで、U-17日本女子代表が、初の準優勝を果たした。

グループステージを２勝１敗の２位で勝ち上がった日本は、準々決勝でアイルランドを破ると、準決勝で朝鮮民主主義人民共和国に逆転勝ちし、決勝に進んだ。

そして、決勝では韓国に２度のリードを追いつかれてPK戦の末に敗れたが、世界大会で日本女子最高の結果を成し遂げた。

その日本女子代表で、藤枝順心高校３年のDF樫本芹菜選手と、藤枝市出身のMF川島はるな選手（JFAアカデミー福島）が出場し、準優勝に貢献した。

日本の試合結果

〈グループステージ〉
●1-4 スペイン
○6-0 ベネズエラ
○6-0 ニュージーランド
〈準々決勝〉
○2-1 アイルランド
〈準決勝〉
○2-1 朝鮮民主主義人民共和国
〈決勝〉
●3-3（4PK5） 韓国

スルガカップ2010静岡県ユース(U-15)サッカー選手権大会

第22回高円宮杯全日本ユース（U-15）サッカー選手権大会静岡県予選

エスパルスSS藤枝　第3位



高円宮杯全日本ユース選手権の予選を兼ねるスルガカップ静岡県ユース（U-15）サッカー選手権大会は、９月23日に準決勝と決勝が行われ、エスパルスSS藤枝が３位入賞した。

１次ラウンドを２勝１分けの勝点７とし、ブロック１位で突破したエスパルス藤枝は、２次ラウンドのトーナメント１回戦でヤマハジュビロ掛川と対戦した。好機を確実に得点に結びつけ、前半に青島大樹の２得点と平沢一騎の得点で３点をリード。後半開始早々には山本翔平が決めて４点目をゲットし、相手の反撃を２点に抑えて逃げ切った。

準決勝の相手は浜名JYクラブ。前半６分にCKから失点するも、右サイドの突破が効果的に働き、後半14分に伊東夏央が中へ入れたボールを中村公亮が蹴り込み、追いついた。だが、その後は攻め切れず、24分にミドルシュートで勝ち越され惜敗。あと一歩で東海大会出場を逃した。

Bブロック	翔洋	Honda	藤枝東	エスパ藤枝	勝点	得失差	順位
東海大翔洋中学校		○2-0	△0-0	●1-2	4	1	2
Honda FC	●0-2		○2-1	△2-2	4	-1	3
藤枝東FC	△0-0	●1-2		●1-5	1	-5	4
エスパルスSS藤枝	○2-1	△2-2	○5-1		7	5	1

Dブロック	常葉橘	ヤマハJ掛川	藤枝明誠	エスパ駿東	勝点	得失差	順位
常葉学園橘中学校		△1-1	○3-1	○2-1	7	3	1
ヤマハジュビロ掛川	△1-1		○3-1	△1-1	5	2	2
藤枝明誠SC	●1-3	●1-3		●0-7	0	-11	4
エスパルスSS駿東	●1-2	△1-1	○7-0		4	6	3

1次ラウンド試合結果（中西部勢のブロックのみ）

新たな挑戦

一般財団法人静岡県サッカー協会
中西部支部４種技術委員長
渡邉　啓介

～県内全域(18地域)円卓会議〈3〉「指導者養成」～

県内18地域円卓会議報告第３回目は「指導者養成」について取り上げます。

指導者養成の必要性と重要性については、「講習会を増やして欲しい」「D級及び無資格者対象の講習会を希望」「ユース指導者制度など若い指導者の発掘・育成に力を入れて欲しい」など、各チームからの積極的な意見で認識度を確認させて頂きました。

現在中西部支部では、コーチングアカデミー・GK講習会・リフレッシュ講習会（有資格者対象）及び各地区の指導者講習会を実施しています。開催２年目を迎える静岡ゴールデンサッカーアカデミーにより、講習会の受講機会は増加していると思います。今後はできる限り多くの指導者に参加して頂けるよう、県・支部・地域さらに各種別の連携を密にし、様々な講習会を企画・実施できるよう努力していきたいと思います。

指導者講習会の目的は、個々のスキルアップ（指導者としての引出しを増やす）、指導者間（縦横）の連携による情報の共有であり、それが、子供たちの為に活用されるものと考えています。我々指導者は、もっともっと勉強し、話し合い、経験を積まなければなりません。指導者講習会等もそのためのツールのひとつとして、積極的に参加頂きますようお願い致します。

指導者個人の名誉のためではなく、「子供達の為に」を共通の目的として、切磋琢磨、一致団結して頑張っていきましょう。

少年男子 試合結果

静岡県 2-1 青森県（1回戦）
静岡県 4-0 島根県（2回戦）
静岡県 2-1（延長） 兵庫県（準々決勝）

成年男子 試合結果

〈1回戦〉秋田県 1-0 静岡県
〈準決勝〉岡山県 2-0 静岡県
〈3位決定戦〉静岡県 2-0 三重県

2次ラウンド試合結果

ヤマハジュビロ磐田 1-4 浜名JYクラブ
エスパルスSS藤枝 4-2 ヤマハジュビロ掛川
ヤマハジュビロ浜松 0-3 東海大翔洋中学校
常葉学園橘中学校 6-0 浜松開誠館中学校

東海大翔洋中学校 1-2 浜名JYクラブ
エスパルスSS藤枝 4-2 ヤマハジュビロ掛川
東海大翔洋中学校 3-6 常葉学園橘中学校

中西部
ヤングサッカーニュース
2010 11

発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第45回 東海社会人サッカーリーグ 1部

10月17日に全日程を終了した東海社会人リーグ1部で、ｓｈｉｚｕｏｋａ．藤枝ＭＹＦＣが優勝を果たした。

首位を走り続けた藤枝ＭＹＦＣは、10月2日に矢崎バレンテＦＣとの中西部対決を制して、この時点で３試合を残す２位のＦＣ刈谷に勝点で10の差をつけ、最終戦を待たずに優勝を決めた。それと同時に、日本サッカーリーグ昇格を争う全国地域リーグ決勝大会の出場権を獲得した。

東海社会人リーグ１部 最終成績

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失差
1	shizuoka.藤枝ＭＹＦＣ	12	3	1	39	41
2	ＦＣ刈谷	10	5	1	35	29
3	マルヤス工業	9	1	6	28	7
4	ＦＣ鈴鹿ランポーレ	7	6	3	27	9
5	藤枝市役所	7	3	6	24	2
6	矢崎バレンテＦＣ	4	5	7	17	-5
7	浜松大学ＦＣ	4	1	11	13	-26
8	中京大学ＦＣ	3	2	11	11	-8
9	芙蓉クラブ	2	2	12	8	-49



第34回 全国地域サッカーリーグ決勝大会
JFL昇格を目指す

東海社会人サッカーリーグで優勝したｓｈｉｚｕｏｋａ．藤枝ＭＹＦＣが、日本フットボールリーグ（ＪＦＬ）昇格を目指して、全国地域サッカーリーグ決勝大会に出場する。全国９地域の各社会人リーグや全国社会人サッカー選手権大会で上位になった11チームと、Ｊリーグ準加盟申請が承認され優遇措置が適用された１チームを合わせた12チームが参加して、１次ラウンドは11月21日から23日まで藤枝市などで行われ、４組に分かれてリーグ戦で争われる。そして、各組の１位３チームと２位の最上位チームの計４チームが、12月３日～５日に千葉県市原市で実施される決勝ラウンドに進む。リーグ戦で行われる決勝ラウンドから、１位と２位の２チームがＪＦＬへ自動昇格し、３位がＪＦＬ下位チームとの入替戦に臨む。

グループ分け

Aグループ	ＨＯＹＯ Ａｔｌｅｔｉｃｏ ＥＬＡＮ（九　州）
	Ｓ．Ｃ．相　模　原（優遇措置）
	ＲＥＮＯＦＡ ＹＡＭＡＧＵＣＨＩ ＦＣ（中　国）
	ＮＰＯ横浜スポーツ&カルチャークラブ（関　東）
Bグループ	Ｓｈｉｚｕｏｋａ．藤枝ＭＹＦＣ（東　海）
	Ｇｒｕｌｌａ盛　岡（東　北）
	三洋電機洲本サッカー部（関　西）
	札　大　Ｇ　Ｐ（北海道）
Cグループ	福島ユナイテッドＦＣ（社会人）
	カマタマーレ讃岐（四　国）
	ＡＣ長野パルセイロ（北信越）
	さいたまサッカークラブ（関　東）

1次ラウンドを藤枝開催

１次ラウンドでｓｈｉｚｕｏｋａ．藤枝ＭＹＦＣが入るＢグループの試合が、藤枝総合運動公園サッカー場で開催される。11月21日～23日の３日間で２試合ずつを実施。藤枝ＭＹＦＣには地元での試合を勝ち抜き、決勝ラウンド進出、そしてＪＦＬ昇格を目指して頑張ってほしい。

決勝ラウンド試合日程

期日	時間	対戦カード
12/3（金）	10:45	Ａ１位－Ｂ１位
	13:30	Ｃ１位－２位１
12/4（土）	10:45	Ａ１位－Ｃ１位
	13:30	Ｂ１位－２位１
12/5（日）	10:45	Ａ１位－２位１
	13:30	Ｂ１位－Ｃ１位

＜会場＞（千葉県市原市）
市原緑地運動公園臨海競技場

１次ラウンドＢグループ試合日程

期日	時間	対戦カード
11/21（日）	10:45	shizuoka.藤枝ＭＹＦＣ － Ｇｒｕｌｌａ盛岡
	13:30	三洋電機洲本サッカー部 － 札　大　Ｇ　Ｐ
11/22（月）	10:45	shizuoka.藤枝ＭＹＦＣ － 三洋電機洲本サッカー部
	13:30	Ｇｒｕｌｌａ盛岡 － 札　大　Ｇ　Ｐ
11/23（祝）	10:45	shizuoka.藤枝ＭＹＦＣ － 札　大　Ｇ　Ｐ
	13:30	Ｇｒｕｌｌａ盛岡 － 三洋電機洲本サッカー部

＜会場＞藤枝総合運動公園サッカー場

第32回 全日本女子サッカー選手権大会 東海予選

全日本女子サッカー選手権東海予選は10月23日、24日に時之栖裾野スポーツセンターなどで行われ、藤枝順心高校が２年連続の優勝を果たし、４回目の全国行きを決めた。

全国大会の出場枠が１チームに減った今回、藤枝順心は順当に勝ち上がり決勝に臨んだ。相手は県大会と同じ清水ＦＣ女子。前半だけで３点を奪った順心は、相手のシュートを０に抑えて快勝し、全国切符を獲得した。

藤枝順心高校 東海大会２連覇
４回目の全国大会出場


藤枝順心高校　ＶＳ　清水ＦＣ女子

第32回 全日本女子サッカー選手権大会

12月５日に開幕する全日本女子サッカー選手権大会に、藤枝順心高校が２年連続で出場する。全国９地域の代表10チームに、日本女子サッカーリーグ（なでしこリーグ、チャレンジリーグ）の22チームを合わせた32チームがトーナメント戦で争い、決勝は２０１１年の元日に国立競技場で、男子の天皇杯に先立って行われる。藤枝順心は１回戦でチャレンジリーグのＡＣ長野パルセイロレディースと対戦。これに勝てば２回戦からなでしこリーグ勢に挑戦できる。全日本女子ユース（Ｕ－18）選手権に向けて良いステップとしたい。

※組み合わせは２面に掲載

１回戦を藤枝で開催

12月５日の１回戦が今回初めて藤枝総合運動公園サッカー場で開催され、藤枝順心高校の初戦を地元藤枝で実施する。この試合の前には、中西部の高校ＯＧも多く在籍する静岡産業大学磐田ボニータと高校の強豪聖和学園の試合も行われる。是非、観戦を。入場無料。

第32回 全日本女子サッカー選手権大会 東海予選

全日本女子サッカー選手権東海予選は10月23日、24日に時之栖裾野スポーツセンターなどで行われ、藤枝順心高校が２年連続の優勝を果たし、４回目の全国行きを決めた。

東海予選 試合結果

藤枝順心高校　3-0
JUVEN.F.C.FLOR　0-2
名古屋ＦＣレディース　2-0
三重高校　0-3
伊賀ＦＣフロイライン　0-2
清水ＦＣ女子　2-1
ＦＣ岐阜ベルタ　0-0（4PK3）
豊田レディースＦＣ　0-0

藤枝順心高校　3-0　5-0　3-0
三重高校　0-2　2-0　1-0
伊賀ＦＣフロイライン　0-0　0-1
清水ＦＣ女子　2-1　0-0
ＦＣ岐阜ベルタ　0-0（4PK3）
豊田レディースＦＣ　0-0

第69回 全国高校サッカー選手権大会 静岡県大会
準々決勝 藤枝ダービーを明誠が制す

全国高校サッカー選手権静岡県大会は、２次リーグを勝ち上がった８校による準々決勝が11月３日に行われ、藤枝明誠と藤枝東が対戦した。明誠が早い寄せで藤枝東の攻めの芽を摘み、サイドを活かして攻め込む。28分に原口祐次郎の左ＣＫを向田将悟が高い打点のヘディングで決めて先制すると、２分後には攻める藤枝東のボールを奪った松村悠平がそのままロングシュートを狙い、これがゴールに吸い込まれて２点目をゲット。大きな展開から明誠ゴールへ迫る藤枝東は、終盤のＣＫのチャンスにＧＫも相手ゴール前に上がって得点を狙ったが、逆にロスタイムに明誠のクリアボールが神谷良太に繋がり、ドリブルで独走し、無人のゴールへ流し込んで駄目押しとなる３点目を奪った。明誠が選手権で初めて藤枝東を破り、準決勝へ進んだ。


藤枝明誠　ＶＳ　藤枝東

藤枝明誠 準決勝で涙

11月６日にエコパスタジアムで行われた準決勝で静岡学園と対戦した藤枝明誠は、「球際の競り合いに異常なまでの執念で来た」と田村和彦監督が話す相手に、思うように攻めの形を作れず、遠目からシュートを放つが決められない。前半13分にＰＫで相手に先行を許すと、31分と後半32分に追加点を奪われ、決勝を前に涙をのんだ。

決勝トーナメント試合結果

静岡学園　7-1　藤枝東　3-0
藤枝明誠　3-0　清水商業　5-2
磐田東　3-1　浜松開誠館　延長1-0
東海大翔洋
11/14(日) エ13:00
＜会場＞エ：エコパスタジアム

２次リーグ試合結果（中西部勢のブロックのみ）

Ａブロック	藤枝明誠	磐田東	清水東	静岡西	勝点	順位
藤枝明誠		○2-1	○2-0	○2-0	9	1
磐田東	●1-2		○3-0	○5-0	6	2
清水東	●0-2	●0-3		○4-2	3	3
静岡西	●0-2	●0-5	●2-4		0	4

Ｄブロック	清水商業	藤枝東	浜名	静岡北	勝点	順位
清水商業		○2-1	○6-0	○4-0	9	1
藤枝東	●1-2		○4-0	○3-0	6	2
浜名	●0-6	●0-4		●2-3	0	4
静岡北	●0-4	●0-3	○3-2		3	3

新たな挑戦

一般財団法人静岡県サッカー協会
中西部支部４種技術委員長
渡邉　啓介

～県内全域(18地域)円卓会議〈4〉「選手に対する指導について」～

県内18地域円卓会議報告第４回は「選手に対する指導について」取り上げます。

全チームから出されていたのは、人間形成を重視しているという意見でした。挨拶のできる選手・礼儀正しい選手・感謝の気持ちを持てる選手の育成に全チームが力を注いでくれている事は非常に喜ばしい事であると感じました。

さて、我々指導者自身を振り返ってみましょう。挨拶はしっかりできているでしょうか？　正しい言葉使いをしているでしょうか？　感謝する気持ちを持っているでしょうか？　指導者は、常に学び、将来のある子供たちに責任を持って接していく必要があると思います。

技術面の指導においては、「個人技術の習得に重点をおいている」「ストロングポイントを重視し、個々に接している」「失敗を恐れないでチャレンジする事を常に言っている」などの意見がありました。選手の育成・指導には正解は無いと思います。前回の報告にも書かせて頂きましたが、我々指導者はもっと学び、各種別との連携を図り、経験を積まなければなりません。

その中で選手個々に合った指導を確立させていくことが必要ではないでしょうか？　我々指導者こそ常に進化しなければならないと痛感しています。明るい未来のある子供たちが文武両道を達成できるよう、我々大人が一致団結し、「子供たちのため」という共通の目的に向け、最大限の力を注ぎましょう。

中西部
ヤングサッカーニュース
2010 12
発行人／一般財団法人静岡県サッカー協会中西部支部支部長　野中伸行　企画構成編集責任者／滝本義三郎
中西部支部ホームページアドレス　http://www3.tokai.or.jp/sfa-chusei/

第7回 NHグループカップ東海ユースU-11・U-12 8人制サッカー大会

焼津トレセン　優勝



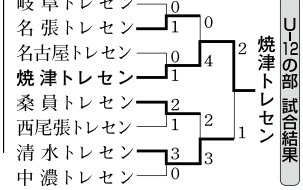
NHグループカップ東海ユースU－11・U－12 8人制サッカー大会が11月14日に岐阜県で行われ、U－12の部に出場した焼津トレセンが優勝を果たした。

12分を3セット行う3ピリオド制で実施されるこの大会。初戦で愛知1位の名古屋トレセンと対戦した焼津トレセンは、第1ピリオドの早い時間に鈴木将希が決めて先制した。第2ピリオド以降も互いにチャンスは作るも得点なく、この1点で焼津が勝利した。

準決勝に進んだ焼津は名張トレセンと対戦。第1ピリオドからペースを掴み、服部開成と福原涼太のゴールで2点のリードを奪う。選手が入れ替る第2ピリオドには良知滉太、第3ピリオドにも福原が決めて、4点を奪って快勝した。

決勝の相手は県大会決勝でPK負けした清水トレセン。第1ピリオドで初の失点を喫するが、第2ピリオドに良知が決めて追いつくと、第3ピリオドには右サイドからのクロスを中島杏輔が頭で合わせて逆転した。終盤には相手の猛攻を受けたが、GK秋山匠也の好セーブなど粘りのディフェンスでしのいで逃げ切り、雪辱を果たした。

U-12の部 試合結果



第14回 東海女子ユース（U-18）サッカー選手権大会

第14回全日本女子ユース（U-18）サッカー選手権大会東海予選

藤枝順心高校 4連覇

東海女子ユース（U－18）サッカー選手権大会は11月20日、21日に三重県鈴鹿スポーツガーデンで行われ、藤枝順心高校が4連覇を果たし、2位までに与えられる全国切符を獲得した。

初戦で岐阜の富田高校に14点、準決勝でも三重の楠クラブレディースに8点を奪って快勝した藤枝順心は、順当に決勝に駒を進めた。決勝の相手は常葉学園橘高校。前半に得点を重ね3点を奪って折り返すと、後半の加点はなかったが、リードを保ったまま試合を終えた。

試合結果



JOCジュニアオリンピックカップ 第14回 全日本女子ユース（U-18）サッカー選手権大会



島田第一SSS 目指せ全国制覇!! 藤枝順心高校

藤枝順心高校が出場する全日本女子ユース（U－18）サッカー選手権大会は、来年1月3日から熊本県で開催される。全国9地域の代表13チームに、夏の全日本高校女子選手権の優勝・準優勝チームと、開催地の熊本県代表を合わせた16チームが参加。5日までの3日間で4組に分かれて1次ラウンドのリーグ戦を行う。

そして、各組の1位4チームが7日の準決勝に進み、8日に決勝が行われる。

前回まで2年連続3位の藤枝順心高校は、まずは昨年以上の決勝進出を、さらにはこの大会初の全国優勝を目指す。

1次ラウンドBグループ 藤枝順心高校の試合日程

日程	時間	対戦相手	会場
1/3(月)	11:45	広島文教女子大附属高校	補
1/4(火)	11:45	神村学園高等部	サ
1/5(水)	11:45	鳴門高校	サ

＜会場＞熊本県民総合運動公園（熊本市）
補：補助競技場　サ：サッカー場

バーモントカップ 第20回 全日本少年フットサル大会

1月4日から6日までの3日間、東京都駒沢オリンピック公園総合運動場で開催されるバーモントカップ全日本少年フットサル大会に、島田第一サッカースポーツ少年団が初出場する。各都道府県の代表48チームが12組に分かれてリーグ戦を行い、各組の1位12チームと2位のうちの成績上位4チームの計16チームが決勝トーナメントに進む。

島田第一は1次ラウンドで長野の岡谷少年サッカー団、東京ヴェルディ、ソレッソ熊本ヴィットーリアの3チームと対戦する。決勝トーナメント進出を、そして優勝を目指して頑張ってほしい。

決勝トーナメント試合日程

期日	時間	体A	体B	球A	球B
1/5(水)	15:10	1回戦	1回戦	1回戦	1回戦
	15:55	1回戦	1回戦	1回戦	1回戦
1/6(木)	9:30	準々決勝	準々決勝	準々決勝	準々決勝
	11:45	準決勝	準決勝		
	14:00	決勝			

1次ラウンド・島田第一の試合日程

日程	時間	対戦相手	会場
1/4(火)	11:00	岡谷少年サッカー団	体A
	18:30	ソレッソ熊本ヴィットーリア	体A
1/5(水)	12:45	東京ヴェルディ	球A

＜会場＞体A・B：駒沢体育館A・B
球A・B：屋内球技場A・B

松永臻杯争奪 第29回 静岡県中西部支部少年サッカー選手権大会

高洲南SSSが優勝

松永臻杯争奪静岡県中西部支部少年サッカー選手権大会は、11月28日に焼津市大井川多目的グラウンドで実施された。NTT西日本グループカップ中西部予選で、4組に分かれて行われた2次トーナメントを勝ち上がった1チームずつの計4チームがこの松永杯を争った。

準決勝2試合は、青島東が青島を、高洲南が吉田中央を、それぞれ前半の1得点で破って決勝に進出。決勝は、高洲南が鈴木友也のゴールで先制し、青島東も池田大成が決めて追いつくが、中谷侑吏の得点で高洲南が再びリードして折り返す。後半に青島東が池田のゴールでまたも同点とするが、最後は八木佑大が決めて決勝点を奪った高洲南が優勝カップを手にした。

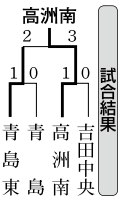
決勝ラウンド組み合わせ



＜会場＞
熊本県民総合運動公園
KKWING（陸上競技場）


高洲南 VS 吉田中央

試合結果



第41回 松永臻杯 争奪中西部支部サッカー選手権大会

ドミンゲス 初優勝



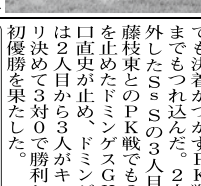
▼決勝トーナメント▲

松永臻杯争奪中西部支部サッカー選手権大会は、社会人と高校のそれぞれの部の代表2チームずつが対戦する決勝トーナメントが、12月12日に藤枝総合運動公園サッカー場で実施された。

準決勝は、SssSが前半に1点ずつを奪い島田高校を下し、ドミンゲスが藤枝東高校をPK戦の末に破って、決勝に進んだ。

社会人同士の対戦となった決勝は、ドミンゲスが前半3分に川島建一のゴールで先制。SssSも16分に岩倉匠吾が押し込み同点とすると、後半5分には橋本文啓のミドルシュートで逆転した。疲れで運動量が落ち、足がつる選手も多数出たドミンゲスだが、選手を交代させながら粘って、14分にPKを得ると市川俊が決めて追いついた。試合はこのまま延長戦に突入し、それでも決着がつかずPK戦にまでもつれ込んだ。2人が外したSssSの3人目を、藤枝東とのPK戦でも2人を止めたドミンゲスGK坂口直史が止め、ドミンゲスは2人目から3人がキッチリ決めて3対0で勝利し、初優勝を果たした。

決勝トーナメント 試合結果



新たな挑戦

一般財団法人静岡県サッカー協会
中西部支部４種技術委員長
渡邉　啓介

～県内全域(18地域)円卓会議〈5〉「トレセン活動」～

県内18地域円卓会議報告最終回は「トレセン活動」について取り上げます。

個の育成を主たる目的とするトレセン（以下TC）活動につきましては、概ね好意的な評価を頂いていると感じました。各チームからの意見としましては、「県TC・中西部アカデミーのメニューをもっと知りたい」・「選手の入替を活発に」・「チームとTCで指導のばらつきを感じる」などが挙げられましたが、これらの意見につきましては、今回の会議のように、チームと技術委員会のコミュニケーションを重ねることで修正していけると考えます。

また、「支部交流・地域交流の機会増」の声もありました。TC交流につきましては、技術委員会としても検討すべき課題であると捉えております。各地域においても、TCデーを有効に活用し、交流を図って頂きたいと思います。

発掘・育成・強化　どの部分をチーム、どの部分をTCと区別するものではないと考えます。我々指導者は地域・種別・チームの垣根を越えてコミュニケーションの意見としまして、「Players First!」の言葉の下、子供たちの成長のために連携し、協力していきましょう。

最後に今回の会議開催にあたり、ご協力頂きました全ての関係者様に御礼申し上げます。皆さまの貴重なご意見は、今後の技術委員会活動に有効に活用させて頂きます。昨年度行われました3種4種リレー会議、今回の円卓会議等これから活発な意見交換のできる場を企画していきたいと思っております。是非積極的にご参加頂き子供達の為に議論していきましょう。ありがとうございました。